

臥龍 昭和二十一年八月二十七日  
第三種郵便物承認  
令和五年一月一日発行(毎月一日発行)  
第八十四卷二号 一月号  
(通巻二八二八号)

# 臥龍

1 月号

締切 1 / 27

2023  
・  
83rd

# 謹賀新年

令和五年 癸卯 みずのと 創立八十三年を迎えるにあたり

新年明けましておめでとうございます。

本会は昭和十五年（一九四〇）創立、おかげさまで創立八十三年を迎えました。また本誌も通巻一八一八号を数えました。これもひとえに会員皆様のご協力・ご支援のおかげによりますものと心より御礼申し上げます。

昨年もコロナ禍により各種行事が中止や延期になりました。本会も八〇周年の記念行事を数度見送りし、目下社会情勢を見極めながら開催を検討中です。

この八十年を回顧する企画として、本会の歴史に深く関与された方々に当時を振り返り感懐をご披露いただいております。大変ご好評につき、本年も連載予定です。

今後も書文化の一翼に貢献できることを目指して邁進いたします。

臥龍会会長 日賀野 溥

表紙のことば

野口 悟空

2023・2024  
seasons — ① 初空

新年、初々しい気持ちで見上げる空。

東の空が茜色に染まっけいき、

それまでの闇が少しずつ薄らいで

ブルーに変わっていく。

やさしく包まれた、美しい色合いは

新しい年の幸せを

静かに予感させる。

書展近作

第9回 日展

会期 令和4年11月4日(金)~27日(日)

会場 国立新美術館

第9回 日展 (2022)

白樂天詩・聞虫

會員

日賀野

琢



# 第9回 日展

会期 令和4年11月4日(金)～27日(日)

会場 国立新美術館

## 書展近作



第9回 日展 (2022)

特選

山巖の影

会員

赤澤 寧生

いあさひ

赤澤 寧生

この度、第九回日展で特選を賜りました。ありがとうございます。恵まれた環境全てに感謝致します。幼少のころより日賀野東華先生の奥様のスミ様に可愛がっていただいたことを心の奥で覚えております。臥龍会長夫人の静子様より、琢先生の洋服のお下がりをお願いして嬉しかったことも懐かしい思い出です。

四歳からお習字らしきことを始めたようですが、中学校一年生の時に「臥龍」の大人の部に出品を始めました。私の書道人生のスタートになります。その時に松島堂の「散懷」という当時一万円した羊毛長鋒筆を父から与えられました。高校生になりアルバイトをして筆を買い取るようになるまでの間は、その筆一本で半紙の楷書・行書・草書、条幅も書きました。現在では多種多様な筆を所有していますが、今でもその「散懷」が、私にとって一番大切な筆です。

当時の臥龍紙面のスターは、王鐸風流動美の関根光碩先生、速度感がスリルを感じさせる久津美碧洋先生、朴訥で存在感のある作風の中津原軒陽先生、温かく朗らかな鈴木源泉先生：憧れの書線を毎月見せていただき勉強しました。

手本執筆や審査長をお勤めだった、父の師、七海水明先生に時々作品を誉めていただいたり、ご注意をいただいたことも少年書道人にはとても刺激的で感動的でした。

作品は、自分の感性で感覚的に感情的に生み出すもの。突然変異的なきっかけで傑作が生まれることを信じて、反古まみれ(沢山書いて紙に埋もれること)になりながら前進してまいります。

「臥龍」の先生方に育てていただきました。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

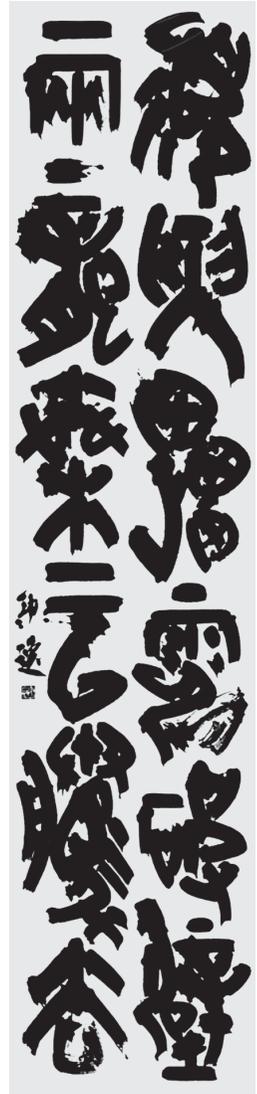
書展近作

第9回日展

会期 令和4年11月4日(金)~27日(日)  
会场 国立新美術館



第9回日展(2022) 咸黜 角田大壘



第9回日展(2022)

歴代名画記一節

小池功逸



第9回日展(2022)

楊廷秀詩

松尾光晴



第9回日展(2022)

劉象詩一節

山下睦未

# 臥龍会創立八十周年の節目に寄せて―⑬ 「書と共に二十八年」



太田英山

(静岡県・洗心支部代表)

この度は、臥龍会創立八十周年誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

昭和五十年代前半、ジョギングが健康に良いと大流行した頃、私も運動不足とストレス解消の為に走り、海外のホノルル、ゴールドコースト大会にも参加しました。気が付いたら五十七歳、年々体力と記憶力は衰えるばかり、惚けない為に書を習う事になりました。動機は中学時代の恩師から頂く年賀状、素晴らしい筆文字を書いてあり、美しい文字が書けたらどんなに良いだろうかと思っていました。まもなくして勤務先の機械設計部長の父親が書道教室を遣られたという情報を聞き、早々入門する事になりました。平成七年阪神淡路大震災があった時、牧之原市(旧榛原郡榛原町細江)の洗心書道教室、坂井恵堂先生に御指導して頂く事になり、同時に臥龍会に入会しました。初めて手にした臥龍誌の教範位一覧表に静岡県出身の先生方が多いのに吃驚し、中でも私達の住んで居た藤枝市在住の桜井琴風先生、池谷流外先生、大井碧水先生の名前もみえ、この様に多くの先生が既に学んでおられることが分かり、一層臥龍誌を身近に感じました。

入会して四か月目、五月号の臥龍誌「園木警珍枕」、七月号に「面壁九年」と行書作品が掲載され坂井先生から、良かったね！おめでとうと誉めていただき嬉しかった事を思い出します。

二年目の夏、早朝の事でした起床の時立ち上がれないのです。早速病院に急行し診断の結果脳梗塞と宣告され大きな衝撃を受けました。「何で私が」と健康には自信があっただけにお真暗らの心境でした。右半身不随で右手右足が使えなく、その上言語障害等あり全く途方にくれました。入院して三日目より大変なりハビリ訓練開始です。午前歩行訓練、午後作業療法と言語訓練を毎日続け、徐々にはありましたが回復に向かい一か月余りで退院する事が出来ました。心配していた右手も暇が有れば絶えず胡桃(クルミ)の実を三個同時に握り、手の平に刺激を与え、握力を強化して最低限の事は出来るようになりました。

しかし肝心な書と筆の握り圧力が充分でなく、毎月書く作品の成績は、はかばかしくなく、書道は止めようかと思った事もありました。

それから三年後、漸く五段に昇進し鄭道昭鄭義下碑、米芾蜀素帖の臨書作品が首位賞になり書を続けて良かったと思いました。

平成十四年一月、私の回復と引き換えに、三十九年間連れ添った家内が持病の急変により死去し、生前言っていた「将来家で子どもさん達に書を教えられたら良いね」の実現を見ないままの旅立ちでした。

平成十六年十月、六回目の挑戦で念願の漢字教範に合格し、二月の「躍龍たちの宴」に参加させていただきました。雪の降らない静岡から、全く経験した事のない寒風にマフラーを忘れた事に気づき、西武百貨店にとび込み買ったことがありました。

平成十九年、いよいよ教室の開設準備、知人のお孫さんを皮切りに六名の小学生を迎えて書道教室の誕生でした。開設の準備には恩師坂井恵堂先生(ご高齢の為書道教室閉講)宅の机を譲っていただき、改めて責任の重大さを感じました。

それから、子ども達相手の教室と自分自身の書作品等で毎日が忙しく、充実した日々を過ごす事が出来ました。中でも平成二十一年八月号の臥龍誌に王羲之蘭亭叙の臨書作品が初めて特選で掲載され、更に大塚清岳先生過分なる選評をいただき大変に感激致しました。その作品、臥龍誌の写真を利用して記念として、先生の選評付きで布に印刷、壁掛けとして保存してあります。

一方、かなは漢字より四年後の開始でした。日常漢字作品を優先する為、かなはどうしても疎かになり、優位で六年余りの足踏み苦労、教範になるまで十三年かかりました。そのかなも元号が変わった令和元年、市民文化祭に於いて市長賞を受賞、読売書法展も毎年応募し、現在は更に日展にも挑戦をしています。

何と言っても良い思い出は、六回参加した「躍龍たちの宴」でした。日賀野会長をはじめ諸先生方や会員の皆様と親交を深め、楽しい一夜を過ごした事です。中での先生方の揮毫色紙や、業者さん提供の書道用品の抽選会は楽しみの一つで、私も福岡俊介先生の色紙と良寛の「述懐の歌」が当たり、今でも大切に飾ってあります。

書を志して二十八年、目標には程遠い現在ですが、残り少ない人生を楽しく頑張ろうと思えます。

最後に臥龍会の今(後益々)のご発展をお祈り申し上げます。  
(昭和十三年生・八十四歳)



# 小中学生 今月の最優秀作品



## ●よろこびのひとつ

最優秀賞に選んでいただきありがとうございます。とてもうれしいです。これからも先生方に感謝しながら上達できるよう頑張ります。

## ●指導…中田 佳子先生のひとつ

最優秀賞おめでとう。書きはじめると納得いくまで書く根性はすばらしいと思います。これからも頑張ってください。

筆をしつかり立てスッキリした線。明るい作品です。(石川子澄評)



栃木県 鹿沼市立楡木小学校六年 栃木支部 四段 中田<sup>なかだ</sup>風澄<sup>かすみ</sup>



支部名・個人は県名または市名・段級・姓名(号)を筆で書きます。  
漢字科楷書・行書・草書の段級は共通です。

次号課題「大山鳴動」

「<sup>てん</sup>天<sup>ち</sup>地<sup>しん</sup>神<sup>めい</sup>明」

天地の神々の意。

「神明」は、神を言う。慶応四年（一八六八）に宣布された「五箇条の御誓文」に、「天地神明に誓い」という表現が見える。一般にも、決して嘘はつかないという意味で「天地神明に誓って」という文句が広く使われる。ほぼ同義の語に「天神地祇」がある。

☆レッスンプoint

明けましておめでとうございます。新年からまた三か月交代で漢字科手本を担当します。コロナ禍は依然不透明な状況ですが、こういう時こそ心静かに、無心になって筆を運んでみましょう。「書」の愉しさや奥深さを味わいながら、今年も皆様の創意溢れる力作をお待ちしています。

\*

\*

\*

☆今年の一月スタートは、オールドボックスな楷書スタイルです。天：横画二本、今回は上を短く書きました。起筆のアタリ強く。地：「土」縦長に。「也」上部を詰めて最後を広く。偏と旁の組み合わせ方が大切。神：「示」偏、中心を右寄せで。「申」最後の縦画がキモ。針を通すように。明：「日」は窓を表す形なので「目」形に。「月」背勢でスタイリッシュに。



半紙部 漢字科

行書 「天地神明」 日賀野

琢書・解説

☆レッスンポイント

天：全体三角形に。リスミカルに運筆すること。

地：「土」縦画を高いところから降ろす。「也」こもりとまとめる。

神：「示」点を効果的に。「申」田部を小さく、縦画はややしなりを。

明：「日」は行書形そのまま。「月」内部空間を広く、中身は小刻みに。



半紙部 漢字科

草書 「天地神明」 日賀野

琢書・解説

☆レッスンポイント

天：草書独自の形。中心よりやや右側に下部を降ろしてゆ

く。  
地：「土」大く、その反動で「也」は軽やかに回転。

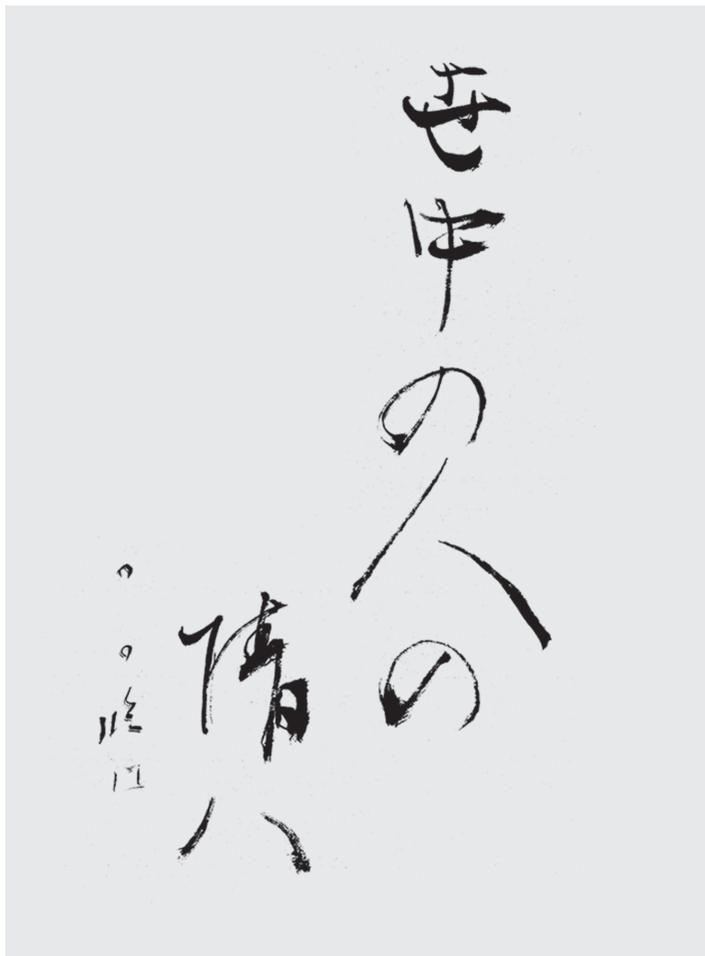
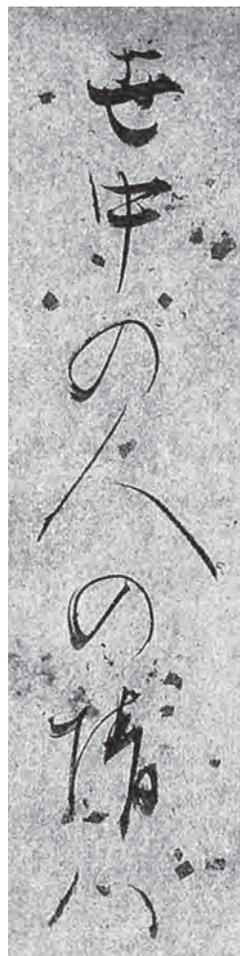
神：最初の点印象的に。下部からは回転のリズムに乗って、最後の縦画は「書譜」に見

られる側筆気味の運筆で。  
明：これも「書譜」風。内部を

空気が含んだように広くとると良い。



作品の左側に「支部名（個人は県名か市名）・段級・姓号」を毛筆書して下さい。なお、課題文字の書体や書き振りで楷書・行書・草書の判別がつきにくい場合があります。必ず左下に(行)堂の区別、プラス「支部・段級・姓号」を鉛筆書して下さい。過大紙・着色紙は使用しないこと。



原帖・解説を参照し、右のように半紙に臨書してください。

■次号課題 関戸本古今集 71頁795

「世中の人の情は花染の移やすきものにざりける」

〔関戸本古今集〕ボケットメモ

伝藤原行成筆とされるが筆者不明。関戸家蔵によりこの名がついた。華麗で多彩な連綿技法とかなど調和した和様漢字は古筆の頂点とされ、明治以来、人気度トップの劇跡。

関戸本古今集(せきどぼんこきんしゅう)

二玄社 日本名筆選(19) 71頁795

◇課題

「世中の人の情は花染の移やすきものにざりける」

◇歌意

世の中の人の心などというものは、露草で染めた染物のようにすぐにさめやすいわべだけの美しさだったのだなあ。

◇レッスンポイント

今月から五月まで一首を、様々な字粒や散らしで勉強する。年間最長シリーズの第一回めです。かなが得意だという人は「書譜」など晋唐以後の漢字の草書の用筆を反映させるとより理解しやすいと思います。かなは草書と同一線上。

一 行め「世中の人の」

「世中」のヨコ画とタテ画の太さの違い、また「人」の左右の広がり大きさと位置関係を見誤らない。「の」は、円転の最後部分が一番目の「の」は、起筆のやや右上で二番目は起筆のやや左です。

二 行め「情は」

「情」は、偏と旁の線の太細を含むデフォルムにより懐を広く見せています。「八」は意連で一画と二画を繋げること。

★募集要項

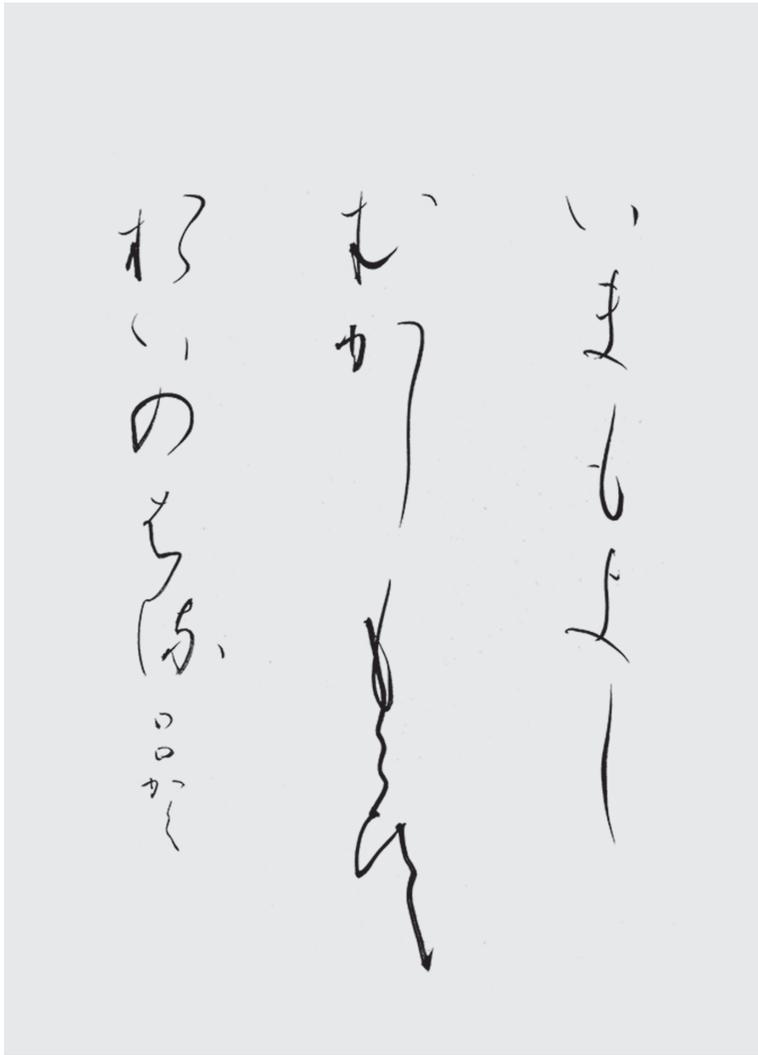
①教範の特位

②作品本文の文末に添わせて雅号または名前を〇〇臨と毛筆書して下さい。さらに左下に「支部・級位・姓号」を鉛筆書して下さい。過大紙・濃い着色紙は使用しないこと。

◎法帖取次いたします。

二玄社・日本名筆選19 関戸本古今集 三、七四〇円 送料三七〇円  
申込 臥龍会本部 現金書留または振替での送金も可

貞永大樹 書・解説



いまよし

むかし  
昔も恋し

わいのちの流

（富安風生）

変体仮名Ⅱお(於)・は(者)・る(流)

富安風生句。新年を迎え、今まで長く生きてきた己をふり返り、これからの自分を天命に任せる心境を詠んだ句。

一行目Ⅱ平仮名の単体

いまよし

文字の外形や起筆、大小に注意しましょう。

二行目Ⅱ平仮名を何力所か連綿

かし

「か」の最終画をストンと落とす。

もこひし

短い間で、行を右に振るイメージ。散らし書きにはよく使われる行の流れです。

三行目Ⅱ変体仮名と連綿を交えて

はる

「は」の最終画を誇張して大きく動く。「る」の一目目は、その流れから反動をつけるようなリズムで迷わずに入る。

★募 集 要 項

①優位く新入

②作品本文の文末に添わせて雅号または名前を「○○かく」と毛筆書きして下さい。さらに左下に「支部・級位・姓号」を鉛筆書きして下さい。過大紙・濃い着色紙は使用しないこと。

全ての会員が出品できます

日賀野 琢 臨・解説



☆ レッスンポイント

新年あけましておめでとうございます。毎年恒例、一月号は干支「兔」一字を表現してみましよう。これまで学習した篆書の基礎を土台に、今月は動物の象形文字の表現を楽しんでください。

\*

\*

【兔】

古い「兔」字は甲骨文に象形的な字が見られるだけで、金文にはほとんど見えません。今回の形は小篆に近づけて書いたものです。似た字に「免」がありますが、こちらは胃を脱いだ人間の形、あるいは分娩の様子を示した字です。

\*

\*

書き方のポイントは、すべて曲線ですが、その曲げ方の度合いに気を付けることです。頭部を大きく半紙の中心に配し、それを受けるように中央部を回します。下部はスツと立つように「中心」を意識しましょう。最後の尻尾と思われる部分は、上から下ろしても付根から上へ上げてOKです。長すぎないように添えることがコツ。

★今月は創作的に自由に表現してOKです。作品的に仕上げるため、小ぶりで適切な印をお持ちの方は押印も試してみましよう。ただし印の大きさや押す位置には十分な配慮が必要です。

基本に則った上での個性溢れる見て楽しい作品をお待ちしています！

★募 集 要 項

①半紙タテ。毛筆落款不要。

②左下に鉛筆で「支部・篆〇級・姓号」を横書きして下さい。

③篆書科の段級は独自の段級となります。漢字科楷書・行書・草書とは別です。必ず「篆〇級」と書いて下さい。初めて出す方は「新」と書いて下さい。

【課題語句】 兔 (うさぎ)

今年の干支「兔」の形。動物の姿を想像して自由な表現を楽しみましょう！

全ての会員が出品できます

日賀野 琢 臨・解説

☆レスンスポイント

新年を迎え、年賀状などでよく使われる賀詞を隷書で表現してみましょう。

\*

\*

### 【慶】

「鹿」頭部は扁平に。特に左払いの傾斜をなだらかにする。「心」は最後の点を省略して下部左払いに移る。最終画は隷書らしい伸びやかさを。

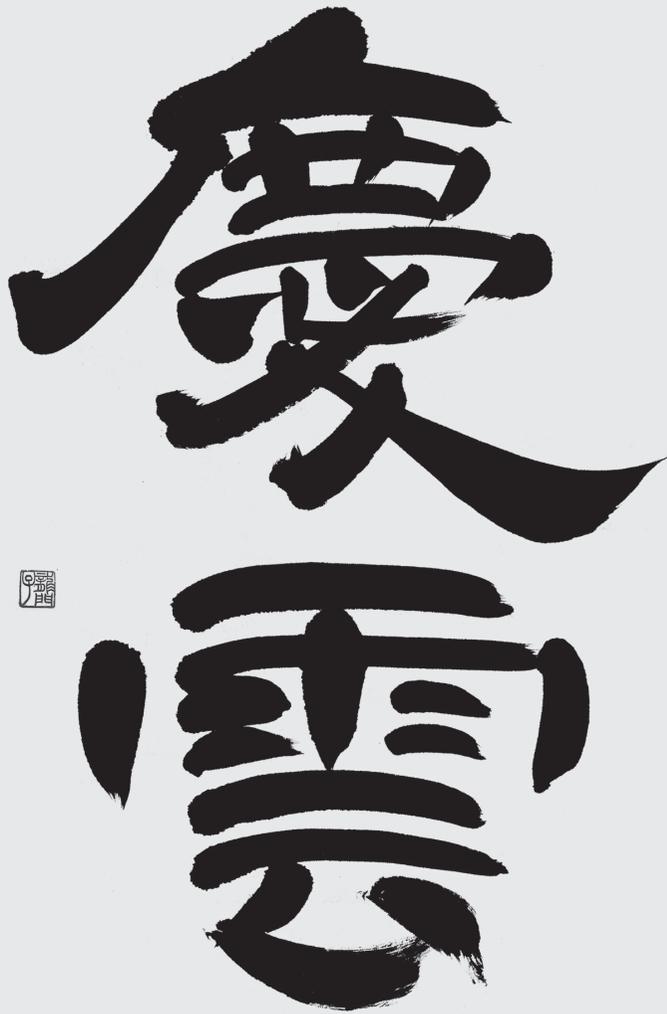
### 【雲】

左右対称の形。すべての横画を扁平に配し、太さ、強さ、不即不離の接点を見極める。下部は三角形状で中身がふつくら見えるように、ただし大きく書かないこと。

★篆書同様、作品的に押印も試してみましょう！

### ★募集要項

- ①半紙タテ。毛筆落款不要。
- ②左下に鉛筆で「支部・隷○級・姓号」を横書きして下さい。
- ③隷書科の段級は独自の段級となります。漢字科楷書・行書・草書とは別です。必ず「隷○級」と書いて下さい。初めて出す方は「新」と書いて下さい。

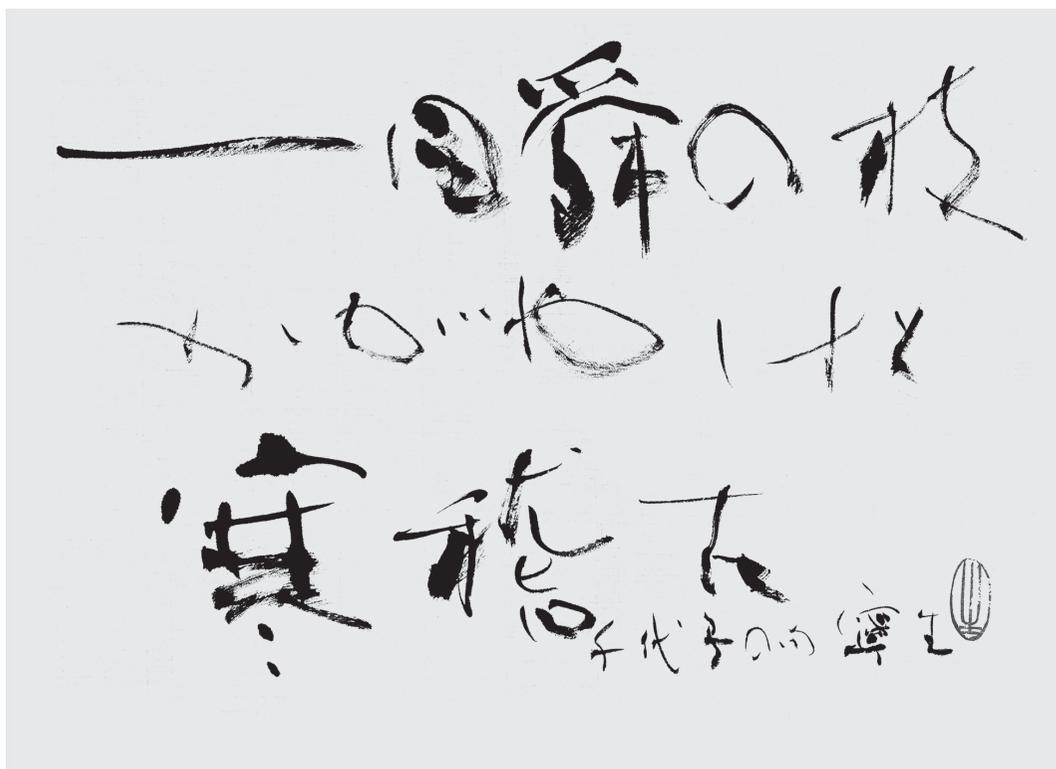


### 【課題語句】 慶 雲 (けいうん・めでたい雲)

新年の念頭に、ポピュラーな賀詞の隷書表現を楽しみましょう！

全ての会員が出品できます

赤澤 寧生 書・解説



【課題語句】

一瞬の枝かがやけと寒稽古（戸崎千代子）

☆レッスンポイント

- 毛質の硬い、超長鋒筆を使用しました。爪楊枝のような形のバランスの筆です。
- 疎密の変化を心掛けて制作しました。注目してほしい部分は「一文字の中の疎密」「字間の疎密」「行間の疎密」「全体の疎密」です。

○掲載の作品はあくまでも参考例です。作者それぞれの想いを込めて自由に制作してください。

○今回の参考作品のような左から右への横展開の作品では、一文字の雅印を押すことをお勧めします。二文字の雅印は縦書き用で、右から左に文字が流れています。今回の作品の流れとは逆になってしまいます。お洒落に「一文字印」を押して作品を華やかに演出してみませんか。

★募集要項

- ①半紙ヨコ。毛筆の落款は自分の名（号）を書く。
- ②左下に鉛筆で「支部・詩〇級・姓号」を横書きして下さい。
- ③詩文書科の段級は独自の段級となります。漢字科楷書・行書・草書とは別です。必ず「詩〇級」と書いて下さい。初めて出す方は「新」と書いて下さい。

平石彰之 臨・解説



〔龍門二十品〕（りゅうもんにしゅつびん）

龍門二十品とは北魏時代に開鑿された龍門石窟内の、書法的に秀でた造像記二〇種の総称で、現在最も一般的な呼称です。

造像記とは、亡き人の供養、一族の安穩を祈願して佛像を造立する由来を記したものになります。

〔孫秋生劉起祖等造像記〕

（そんしゅうせいりゅうきそとうぞうぞうき）

景明三年（五〇二）、一三〇・〇×四九・〇cm、全一三行、一行三十九字。

〔太和七年新城〕

○学習のねらい

鋭く強い点画を持ち、右肩上がりで引き締まった方筆の特色を学びましょう。

☆レッスンプoint

太…左右にのびやかに。

和…字中の白を明るくまとめる。

七…横広にする。

年…やや小ぶりで縦長にする。

新…一画一画しっかりと強さを。

城…引き締めた字形に。

★募集要項

①教範と新入。

半紙部漢字臨書研究科の段級は、漢字科の段級と共通。課題文字六文字（参考手本参照）を半紙に臨書。

②作品左側に雅号または名前前臨のみを毛筆書し、さらに左下に「支部・段級・姓号」を鉛筆書して下さい。

◎法帖取次ぎいたします。

二玄社（中国法書選）

龍門二十品（下）（21）ガイド付

三、二七八円＋送料三七〇円

◎現金書留または振替送金も可。会費等と同送の場合  
は正確な明細を必ずご記入下さい。



▽原文

長樂鐘聲花外盡。龍池柳色雨中深。

▽読み下し文

長樂ちやうらくの鐘聲しやうせい花外かがいに尽つき、龍池りゆうちの柳色りゅうしよく雨中うちゅうに深ふかし。

▽出典

荀子

※教範から新入までがこの課題で出品できます。

【今月のレッスンプoint】

十四文字を行草書体で、随所に逆筆を用い、筆圧のある線

で字中の余白と運筆のリズムに意識しながら書いたつもりで

す。皆さんも、日頃学ばれている書風で躍動した作品を書い

てみて下さい。

# 創作研究科

条幅部 自由科

教範ノ新入 (半切タテ書)

平井子晴書



天清鶴能高 (天清く鶴能く高し) (廿立)

漢字課題

審査

日賀野

琢

嘉福成基

(嘉福基を成す) (文徵明)

半切

タテ 135cm  
ヨコ 35cm

出品資格 準師範以上。書体自由。無差別審査

かな課題

審査

赤澤

豊

宝船ゆめゆめしくはあなれども (初山梓月)

半切

タテ 135cm  
ヨコ 35cm

出品資格 準師範以上。かな漢字の変換自由。ちらし自由。

かなづかい出題通り。無差別審査。

ペ切 一月二十七日

発表四月号

○両科共必ず「支部・段級・姓号」を作品の左下に鉛筆書して下さい。

## ★募集要項

### ●条幅部・課題科

- ①当月掲載手本の課題に限る。書体書風は任意。
  - ②一人一点。③半切タテ書。④漢字科の段級区分。龍(教範・特師範)・虎(師範・準師範・七段)天(六段・五段・四段)・地(参段以下)
- 条幅部・自由科

- ①当月掲載手本以外に書体字数任意。(同月の別科課題は不可)
- ②一人一点。③その月の参考手本の紙型。
- ④無差別審査(第一次審査によって龍・雪・月・花の区分決定。その後序列審査)

★両科とも条幅左下部に「種別(課題科・自由科)・支部・段級・姓号」をタテ書で鉛筆書して下さい。

以上規定違反の作品は審査対象外となります。

ペ切 一月二十七日



妙法蓮華。諸佛之秘藏也。多寶佛塔。  
（妙法蓮華は、諸仏の秘藏なり。多寶佛塔は、  
みょうほうれんげ

臨書参考手本

赤澤 豊臨



# 顏真卿 多宝塔碑を学ぶ

赤澤 豊

今年の条幅臨書研究科の課題は顏真卿の多宝塔碑です。

さて、前年の孫過庭の書譜を一年間十か月に亘り学びましたが書譜の特徴が見えてきたことと思います。臨書はなぜやるのか？などをしっかりと考え、今まで学んだ臨書に加え、今回の顏真卿の多宝塔碑を自分の体の中に滲ませ、自己の書表現に深みを出したいものです。さあ、新年を迎えました。新たな気持ちで出発しましょう。

## ▽多宝塔碑について

【多宝塔碑は唐の天宝十一年(七五二)、顏真卿四十四歳のとき、楚金禪師が長安の千福寺に舍利塔を建てた経緯を勅命により記したものである。碑はもと陝西興平県の千福寺にあったが、明代に西安の府学に移され、現在は陝西省博物館・西安碑林の第二室に保管展示されている。螭首をもつ碑石は高さ約二・三九cm、幅一・二七cmで亀趺の上に立ち、全高は三mに近く、文字面の全拓整本はおよそ一八五×九七cmで、碑文は三四行、毎行六六字、全二〇〇〇字に及ぼんとする豊碑である。螭首の中央には二行八字の隸書題額「大唐多宝塔感応碑」が冠されるが、これは同時の先輩徐浩(七〇三―七八二・浙江越州の人)の筆で、骨格のしっかりした見事な出来栄である。碑文は当時かなり詩文に長じたと思われる岑勛の撰、さらに「河南の史華」という鐫刻者の名が明記されている。筆者の顏真卿(景龍三年(七〇九)―貞元元年(七八五))は琅邪臨沂の人。字は清臣。開元二十二年(七三四)の進士で、少壮より書を能くし、博学で辞章にすぐれていた。多宝塔碑は壮年の筆になるせい、後年の楷書碑に比しやや固い感じがする。用筆は厳正、結構はあくまで緊密で、一点一画をもゆるがせにしない用筆法は他に類を見ない。古来、初学の手本として大いに用いられたのも、結体の整齊、法度を守った書であることに起因しよう。】

## ▽私の臨書作後感

初唐の三大家(虞世南・歐陽詢・褚遂良)が楷書の典型を完成させましたが、顏真卿は王羲之をはじめ三大家の伝統を継承し、顔法という特異な筆法を編み出しました。その顏真卿の書法と風格には書けば書くほど近づくことができず

二女社 中国法書選より抜粋

何枚書いても反省するばかりです。これから一年皆さんと共に多宝塔碑を学びましょう。その際、顏真卿の他の古典も鑑賞しながら学ぶことも大切かと思えます。楷書では、多宝塔碑(七五二)、顏勤礼碑(七五九?)・麻姑山仙壇記(七七二)・顏氏家廟碑(七八〇)などがあり、行書では、よく知られる祭姪文稿(七五八)・争座位稿(七六四)があります。一度顏真卿の書全体を眺めてみると臨書表現に深みが出ることでしよう。今回は各字のポイントを省略します。原帖の各字を十分観察し一度半紙で練習してから条幅に書きましょう。

## ★募集要項

### ●条幅部・臨書研究科

- ①当月掲載の古典・課題部分(参考手本参照)を臨書。
- ②一人一点。
- ③半切タテ書。

- ④審査区分Ⅱ龍(教範・特師範)・虎(師範・準師範・七段)天(六段・五段・四段)・地(参段以下)

★条幅左下に「臨書研究科・支部・段級・姓号」を鉛筆書して下さい。以上規定違反の作品は審査対象外となります。

◎法帖取次ぎいたします。

二女社(中国法書選)

多宝塔碑(40)ガイド付：三、〇五八円＋送料三七〇円

◎現金書留または振替での送金も可。

会費等と同送の場合は正確な明細を必ずご記入下さい。

本部選定 画仙紙 取次いたします。

『臥龍瑞雲』一反 一〇〇枚 七、七〇〇円(税込)  
一反〜二反は送料八五〇円・三反以上は送料無料

(遠距離の場合は送料が変わりますので、本部に問い合わせ下さい。)

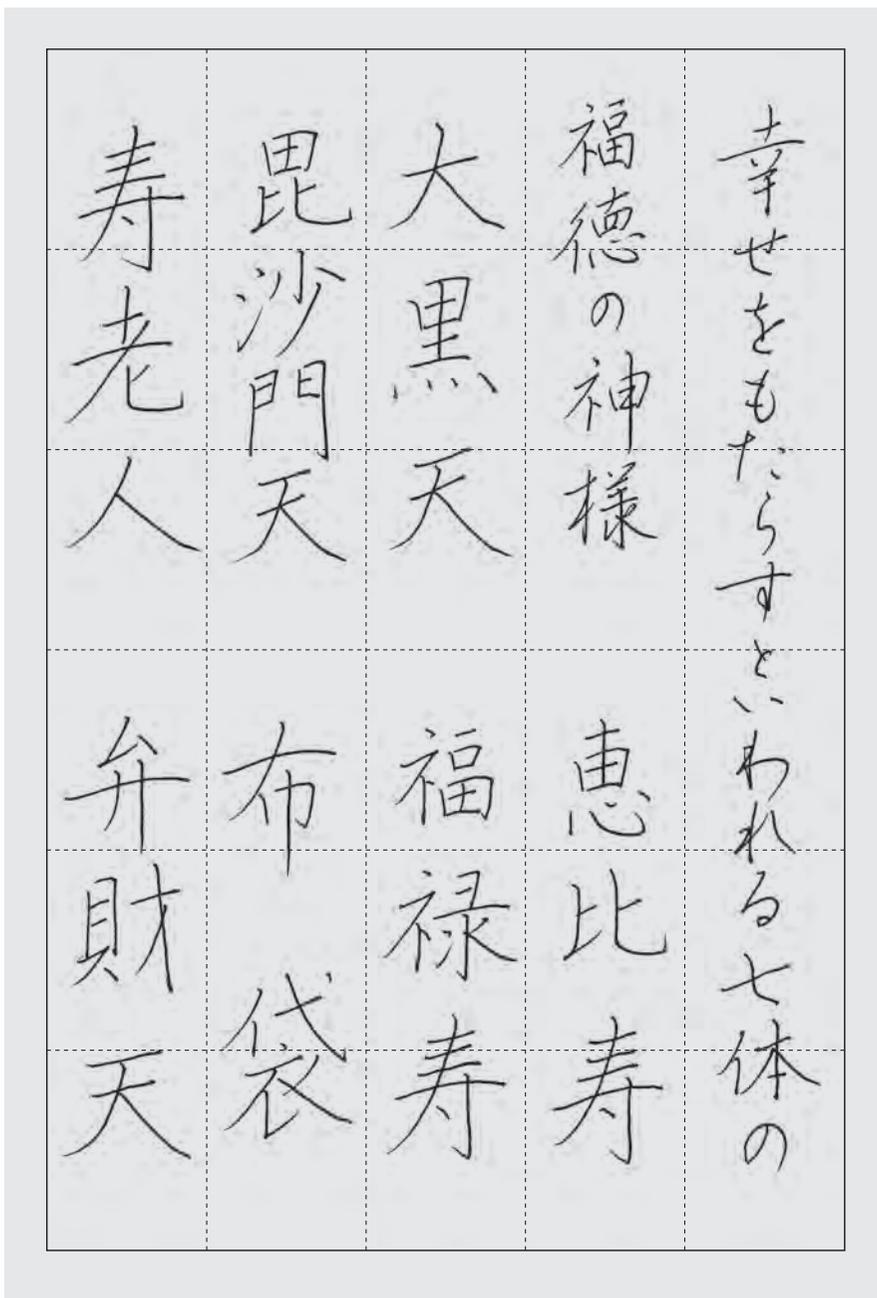
※お申し込みは臥龍会本部まで。現金書留または振替も可。

# 硬筆部

## ○コメント

新年を迎え本年も良い年でありますよう 今年もご健筆をお祈り申し上げます。

平井子晴 書・解説



## ○よみ

幸せをもたらすといわれる七体の  
 福德の神様 恵比寿  
 大黒天 福祿寿  
 毘沙門天 布袋  
 寿老人 弁財天

### 臥龍会選定用紙

1冊460円		価格		
冊数	送料	冊数	送料	合計
1〜2冊	180円	1〜2冊	180円	送料加算
3〜8冊	370円	3〜8冊	370円	送料加算
9〜29冊	本部問合せ	9〜29冊	本部問合せ	送料加算
30冊以上	送料本部負担	30冊以上	送料本部負担	送料加算

◎現金書留または振替での送金も可とします。会費等と同送の場合には正確な明細を必ずご記入下さい。

### ★募集要項

- ①黒ボールペン使用に限ります。ペン・鉛筆・サインペン等は不可。
- ②「支部・級位・姓号」を選定用紙所定の位置に書いて下さい。

○選定用紙以外のものは選外とします。

臥龍会選定用紙(50枚綴)は本部にご注文ください。(枠アリ枠ナシ共通です) 下記の詳細を参照下さい。

幼年・小学一年でほん

日賀野 琢 書



小学二年でほん

平 石 彰 之 書



「せびろ」  
文：あらいぞうめい

せびろをきるととうさんの  
せほねがびんとのびました

せびろのポケットいくつある  
ひいやうみいよういつ  
わうななつ

むねのポケットはめいしれ  
うちのポケットはなにがある  
さいふのほかにべつてちよう

ハンカチはながみもつたかな  
わきのポケットにちやんとある

したくもできてしゆっきんだ  
おとわすれたていきけん

「月光」(げっこう)

☆シックスポイント

月光とは漢字の通りに月の光や

月影ともいいます。月光と聞いて

パッと頭に浮かんでくるのは、ペー

ト・ヴェンクの月光。ピアノソナタ

第14番の通称です。ムーンライト

ソナタともいわれます。アニメの

月光仮面なんかもいいますね。一

年のスタートです。みなさん新た

な気持ちで頑張っていきましょう。

※ ※ ※

月：一画目は途中まで垂直に長く

引いて扱う。縦長の形にする。

光：「儿」の始筆は横画の下に浅

く接する。一画目に対して二、三

画目の間隔。

筆順

1) 月 月

2) 光 光 光

小学四年手本



赤澤 豊書

「市役所」(しやくじょ)

☆レッスンポイント

市役所とは、市の行政事務を扱う役所のことです。みなさんは行ったことがありますか？

※ ※ ※

市：「巾」の幅に注意し、縦画を長く書きます。

役：偏と旁の組み立てに気を付け、偏と旁の間の空間をゆすり合います。

所：偏と旁のゆすり合いに気を付け、旁をやや大きく書きます。

筆順  
 一 市  
 二 役  
 三 所

小学三年手本



荒井 久雄書

「消息」(しょうそく)

☆レッスンポイント

消息とは、人や物事の状態や、それについての連絡、知らせのことです。

例文として、「彼は消息不明だ」(彼は今どこで何をしているのかわからない。連絡できない)、「船は消息を絶った」(船の状況がわからなくなつた)、などのように使います。

※ ※ ※

消：偏と旁のつり合いに気を付け、偏と旁の間に空間をつくる。穂先のパネをきかせて張りの点やねの方向に気を付け、ある線質になるよう心がける。

息：「目」な中心に縦長に書き、「心」のつり合いに気を付けて字形を整える。「心」は一面一面の位置、筆使いに注意して力強く書く。

筆順  
 一 消  
 二 息

小学五年手本

北條正浩書



小学六年手本

神長雪華書



「代表者」(だいひょうしゃ)

☆リンスポイント  
意味：グループや会社の人たちの意見をまとめたり、その意見を他に示したりする人。

あけましておめでとうございませ。令和五年の幕開けですね。「一年の計は元日にあり」よい年になりますように！

※ ※  
代：「代」は縦長に書く。三画目の横画は右上がりに。四画目は右下に長くそらせ、右上にはねる。最後の「一」を忘れずに！

表：横画は等間隔にし、三本の長さを変える。六画目は、五画面目の接筆の位置に注意し、右上に長くはねる。

者：三画目の横画が、文字を上下にはば二等分する。四画目にはばらばら、一画目・三画目との接筆の位置に注意する。「日」は中心より右に書く。

筆順

ノ イ 仁 代  
一 ナ ホ マ 表 表 表 表  
一 ナ ホ マ 者 者 者 者

「仲間士」(なかまどし)

☆リンスポイント  
お互いに仲間であることをいえます。同じ目標に向かって仲間同士助け合っていることなどいえますね。

※ ※ ※  
仲：「中」の縦画は「口」の中央を通るように書きます。「口」は扁平にし、縦画は内側に向けて書きます。

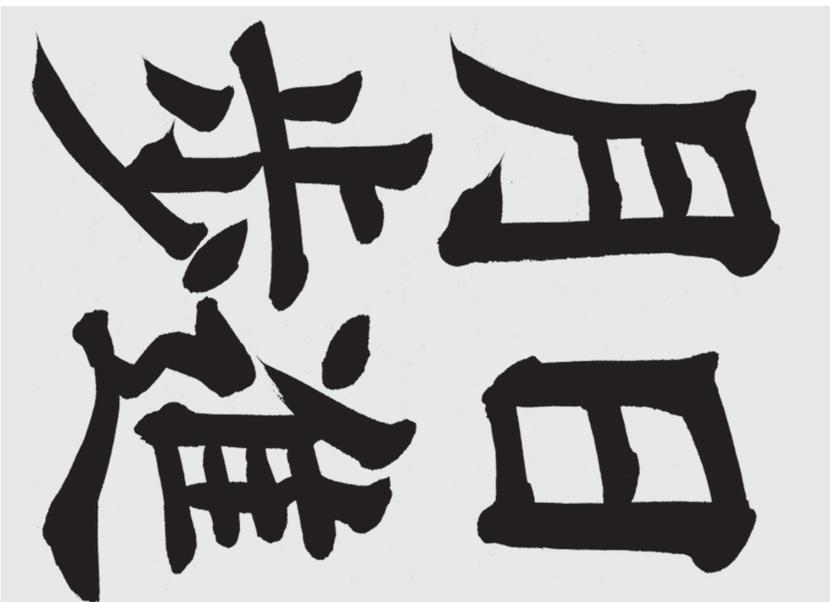
間：横画は等間隔にします。縦画は全体をささえるように、バランスよく書きます。

同：「口」の左右の縦線は垂直に書き、「口」の下は広くあけます。士：一画目を最大幅にし、縦画と横画は互いに二等分します。

筆順

ノ イ 介 仁 仲  
一 ノ 門 同 同 同  
一 ナ ホ マ 同 同 同  
一 ナ ホ マ

中学（一・二・三年）手本（楷書） 柏崎麗泉書



「日新月歩」(にっしんげつぽ)

☆リンスポイント

意味：絶えず進歩すること。

新年おめでとーございます。

「日進月歩」を心がけて、新たな目標に向かって努力していきましよう。

※ ※ ※

日：夕テ画は一画目より二画

目をやや長くします。

進：「佳」のヨコ画は等間隔

で右上がりにして、二画

目の夕テ画は八画目のヨ

コ画より出ているとよい

です。しんによるの最終

画はのびやかに。

月：夕テ画は互いに少し反り

あいます。

歩：一画目と五画目は中心が

通るようにします。七画

目は六画目より下がらな

いようにします。

☆出品のきまり（幼年・小・中学生）

▽清書には「支部名・個人は県名又は市名・学年・段

級・姓名」を書きます。

▽会員は毎月清書一枚を出品して、「段・級」を受け

ます。優れた作品は成績名簿に○がつき、段級が上

がり、特に優秀な作品には最優秀賞や特選や賞かつ

きます。

▽各学年の決められた毛筆課題手本を半紙に、硬筆課

題手本を硬筆用紙に書きます。

▽はじめて出品する時は「新」、次からは決まった級

または「再」と書きます。

▽学生部の段級と一般部の段級は別です。そのため中

学部より一般部へ移動する場合は編入審査を受けら

れます。中学から高校へ進学し、一般部で継続され

る人は、**中学部での最終段級**を鉛筆で補足書きして

下さい。

▽他会からの入会も**編入審査**を受けられます。

▽小学六年模範級の方は四月からの中学生出品の時五

段に編入となります。

☆おねがい

作品を書き上げ後、昇級した場合、毛筆書きも鉛筆

書も新しい段級に訂正ください。どちらか一方を直

しますと間違いのようになります。

※毛筆書きの訂正は鉛筆ではなく赤でお願いします。

幼年・小一年	てほん	小二年	大地	小三年	打開	小四年	物覚え	小五年	島の住民	小六年	日光連山	中学部	単刀直入 (楷書)
--------	-----	-----	----	-----	----	-----	-----	-----	------	-----	------	-----	--------------

【予告】二月号課題・毛筆

硬筆科 幼年・小学一・二年手本 (黒色えんぴつBか2Bで書いて下さい)

成島北水書

か  
が  
な  
ん  
年

☆お願い...低学年の「支那名・学年・氏名」は左欄外に楷書で補足書きして下さい。

硬筆科 小学三・四年手本 (黒色えんぴつBか2Bで書いて下さい)

日賀野千恵子書

お正月の遊戯を家族  
みんなが楽しんでもう

硬筆科 小学五・六年生手本 (黒色えんぴつBか2Bで書いて下さい)

日賀野琢書

身の回りで  
川柳に作り  
てみよう

硬筆科 中学一・二・三生手本 (黒色ボールペンで書いて下さい)

赤澤豊書

元日や神代のこと  
思はるる  
荒木田守武

●出品のきまり (すべての会員が出品できます)

★硬筆科の段級は毛筆科とは別です。

▽出品は一人一枚です。

▽消書には消しゴムを使わないで下さい。

▽取崩会選定硬筆用紙を必ず使用して下さい。

◎書記員の指定を守って下さい。

☆弘龍会硬筆科選定用紙一冊 (50枚綴) 190円

冊数を明記の上、送料は加えて現金書留または振替で本部までお申し込み下さい。郵送の場合3冊以上となり

送料 3冊

4〜12冊 370円

13冊以上の場合は本部へお問い合わせ下さい。

特 選 (条幅部・11月メ切分)

課  
題  
科



龍門 小池功逸氏

今回の作は濃墨を抑え、やや滲みを意識し技巧的表現を抑えている。その表現には作者の内面から表出された人間味が感じられ好感あり。

(赤澤 豊選評)

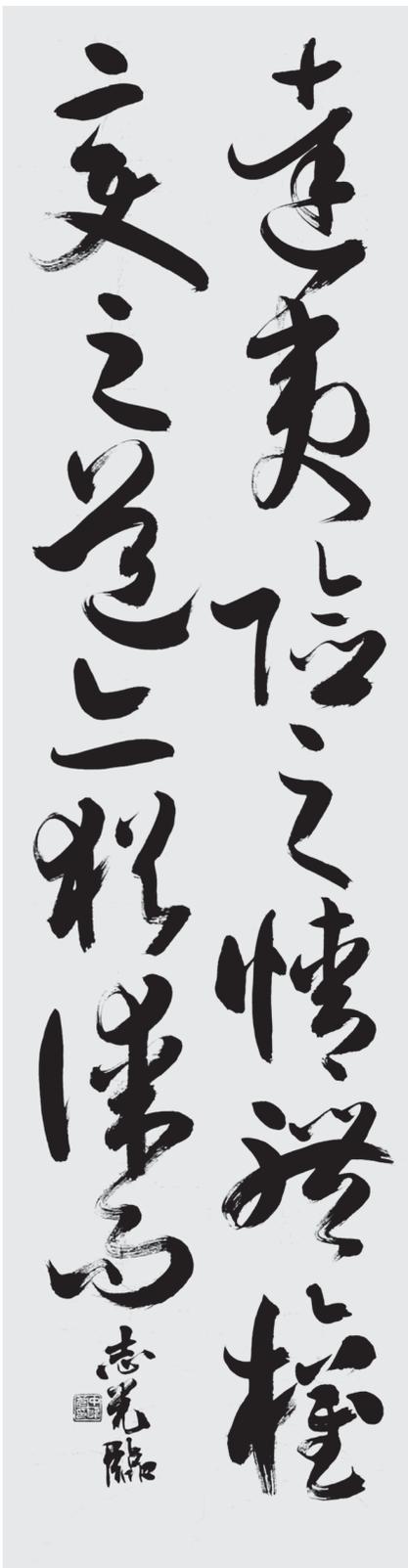
自  
由  
科



龍門 小池功逸氏

思い切りと自在な筆捌き。力感練感の高い作である。一貫して安定感が充実。(鈴木源泉選評)

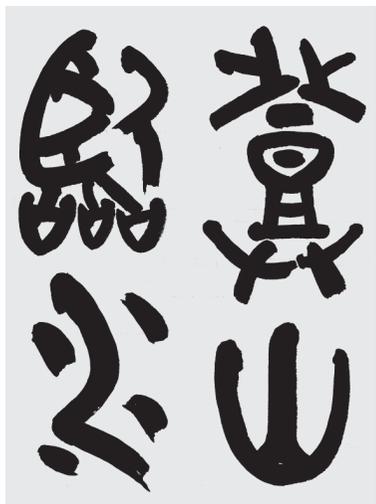
特選 (条幅部・11月メ切分)



原本の緻密な迄の表現は何ヶ所か欠けてはいるが、氏の呼吸のままに吐露し作品化する手腕は立派。(大輪無涯選評)

優秀作品

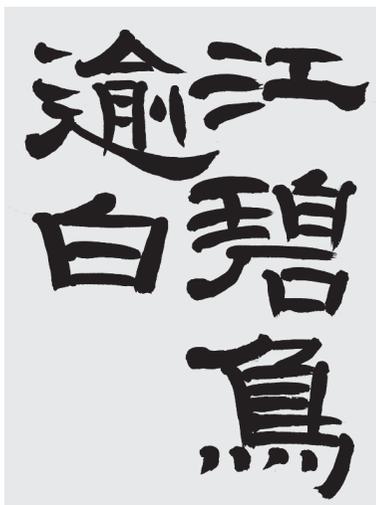
篆書科・隸書科  
詩文書科



国本 篆初段 櫻井 和子氏

重厚かつ豊潤な線を用いて、金文独特のフォルムを丁寧に仕上げている。半紙だけでなく大きな舞台にも是非挑戦してほしい。

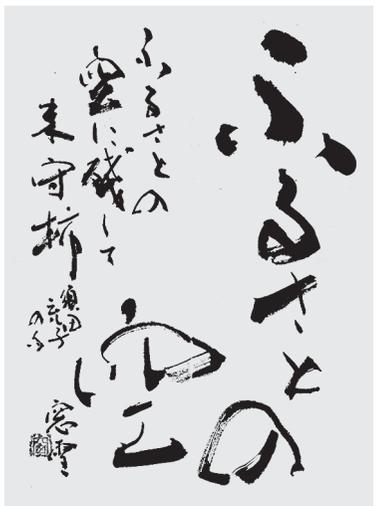
(日賀野琢選評)



労游 隸三級 高井 芳子氏

切れ味鋭く、爽快感溢れる優秀作。扁平な字形の取り方も手に入り、安定感漲る。文字の大小と五字の調和、余白の研究をさらに。

(日賀野琢選評)



悠豊 詩二級 鶴時 窓雪氏

筆圧充実で豪快な運筆が頼もしい。所々の強い渴筆に緊張感がある。小書きの線にも気合を感じる。

(赤澤寧生選評)

優秀作品 (半紙部・教範・特師範)

龍門 教範 山下 睦未氏  
切れがあり、構築性高く字間字中の余白と線の肥瘦の調和、絶品。

(吉田竹溪選評)



宮書 特師範 渡邊 文子氏  
微動だにしない盤石の筆致と字坐の安定性が白眉。典型的な健全美。

(吉田竹溪選評)



高芸 教範 佐藤八寿子氏  
個性豊かな表現に拍手。墨の置き方にやや難点が見えるが実に伸びやかで面白い作。

(赤澤 豊選評)



宮書 特師範 渡邊 文子氏  
紙面を最大限に生かし、筆力ある線と白が程よく生かされた力作。

(赤澤 豊選評)



龍門 教範 小池 功逸氏  
筆力に富み気骨のある線のリズムが心地良く響く。

(大輪無涯選評)



宮友 特師範 大輪 司氏  
線のぐずつきが多少気になるが豪快なタッチで終始し余力を感じる。

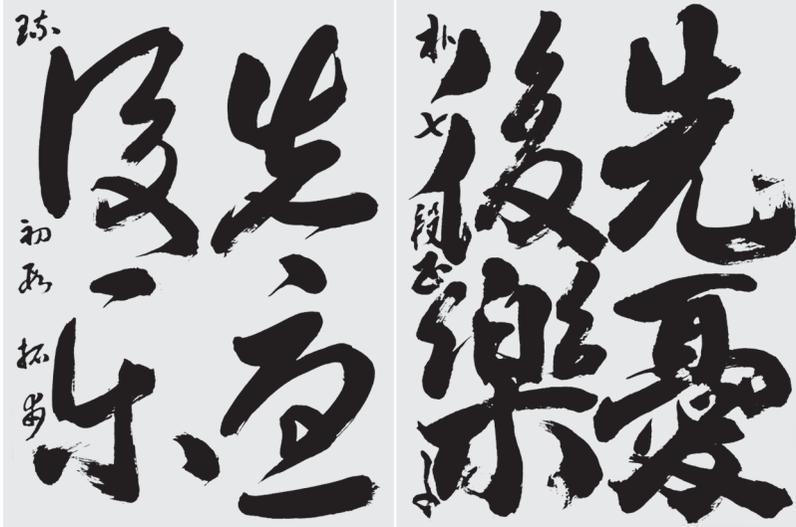
(大輪無涯選評)

特 選 (半紙部)

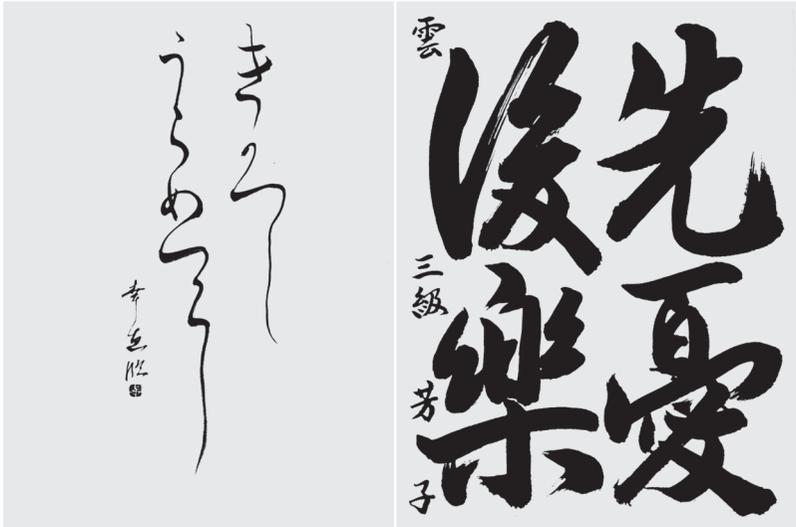
琴 師範 中島 千春氏  
 平淡天成、とくに作為的な誇張なく淡々と書くうちに生まれた格調が卓抜。  
 (吉田竹溪選評)



朴 七段 長谷川正子氏  
 柔毛を駆使。風格ある豪快な作です。  
 (石川子澄選評)



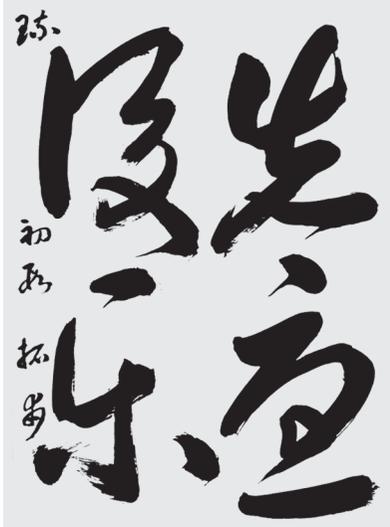
雲 三級 笹目 芳子氏  
 骨力あり躍動感あふれる作。  
 (吉田長子選評)



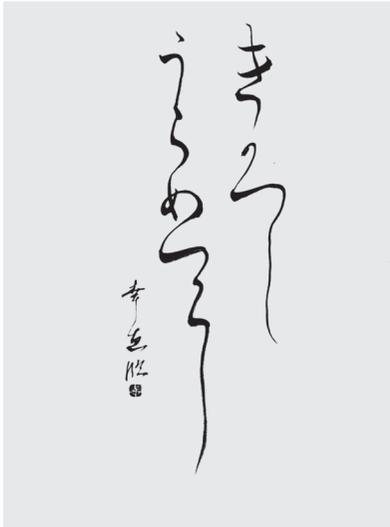
栃木 師範 峯岸 旻文氏  
 小粒ながら用筆法に基本的な正確さがある。  
 (大輪無涯選評)



琉 初段 中臣 拓甫氏  
 深みある線で心のこもった運筆の作。  
 (櫻井素玄選評)



雨情 秀位 落合 幸恵氏  
 気負いなく丹念に心をこめて運筆している。安定した臨である。印象に残る落款である。  
 (鈴木源泉選評)





楷書科

○教範ノ準師範  
 ○翔太氏 意氣軒昂、生氣漲る。絶妙な分間の広狭による高度な表現力に拍手。  
 吉田 竹溪 選評

七段ノ初段  
 ○寿江氏 厳しい引き締まった鋭さを感じさせる作。気力一杯大胆に個性豊か、紙面が活動している。気力と緊張感のある一点一画、全体構成も安定している。  
 水沼 龍峰 選評

○優花氏  
 ○奈緒氏 筆の開閉自在で全体の表現も見事です。  
 ○和子氏 線の滑らかさと豊かさ、温かさを含んだ個性豊かな作。

○紀子氏 一字一字慎重に安定した構成でよくまとまっています。  
 ○秀子氏 力強いタツツで重厚な線、気迫を感じる作。  
 ○晃雲氏 流麗な線と余白の美しさ、快作。

優級ノ九級  
 ○由美氏 筆脈通り、結体、運筆の一貫性が佳。「憂」は傾斜が強過ぎたようです。  
 ○葉菜氏 運筆に余裕があり、豪快且つ字座の安定感抜群。若い伸びやかな力が溢れた、気宇壮大な作。  
 ○日彩氏 一線一画入念に着実に運筆され、気力充実の快作。  
 ○厘太郎氏 表情豊かに雄渾に仕上げた作。起筆に散見する「コブ」が今後の課題。  
 柏崎 麗泉 選評

○麻衣氏 強い線で豊かさを感じます。転折部の横から縦への移行が堅実になれば、更に安定感が増します。  
 ○花氏 気負なく素直な筆致で好感。名前を大きく、隣字とぶつかる点は避けたい処です。  
 ○喜代氏 細くシャープな線で颯爽と仕上がっています。が、少々大胆さが欲しいです。  
 ○ひより氏 筆先の弾力を利かせて気合いの入った運筆で厳しさを感じます。  
 ○晃章氏 均整のとれた字形、運筆の基本が仕上がっていますので、次回作も期待致します。

行書科

○教範ノ準師範  
 ○和寿氏 濃墨で紙に食い込む筆力ある線が存在感を引き立たせている。  
 ○翔汰氏 四文字の力関係が調和し、基本的な用筆法が冴えた腕前に拍手です。  
 赤澤 豊 選評



七段く初段

石川 子澄 選評

○優花氏 送筆に無理がなく、四文字の布置心得ています。

○幸子氏 筆の上下動巧み。遅速も加わり見応えあります。

○優衣氏 筆圧強く冴えた線。力陵十分の作です。

○理沙氏 穏やかな動きに加え字姿美しく、品位があります。

○静子氏 動き雄大。線のメリハリも有り、作品の見せ方心得ています。

○沙知氏 巧みな筆さばき、程良い自己主張。白が美しいです。

優級く九級  
○清子氏 大らかな運筆、線が伸びやかですばらしい。  
○望 氏 力みなく、淡々とした運筆で、大らかな作。  
○貴子氏 スケール大きく、線にリズム感あり、大らかな作。

吉田 長子 選評

○沙耶花氏 軽快のある運筆で明るく堂々の作。

○廣 氏 穏やかな書線で、力まず書け、特に三文字目の書線すばらしい。

○美羽那氏 墨量充分で力感ありすばらしい。

○喜代氏 墨量の変化あり。大きな構成力ありすばらしい。

○ひより氏 丁寧な運筆、力強い作。

○秀樹氏 スケール大きく、鋒先が良く動きすばらしい。

章書科

教範く準師範  
○亮子氏 正面から正攻法なタッチで終始し、すっきり見せている。

大輪 無涯 選評

七段く初段

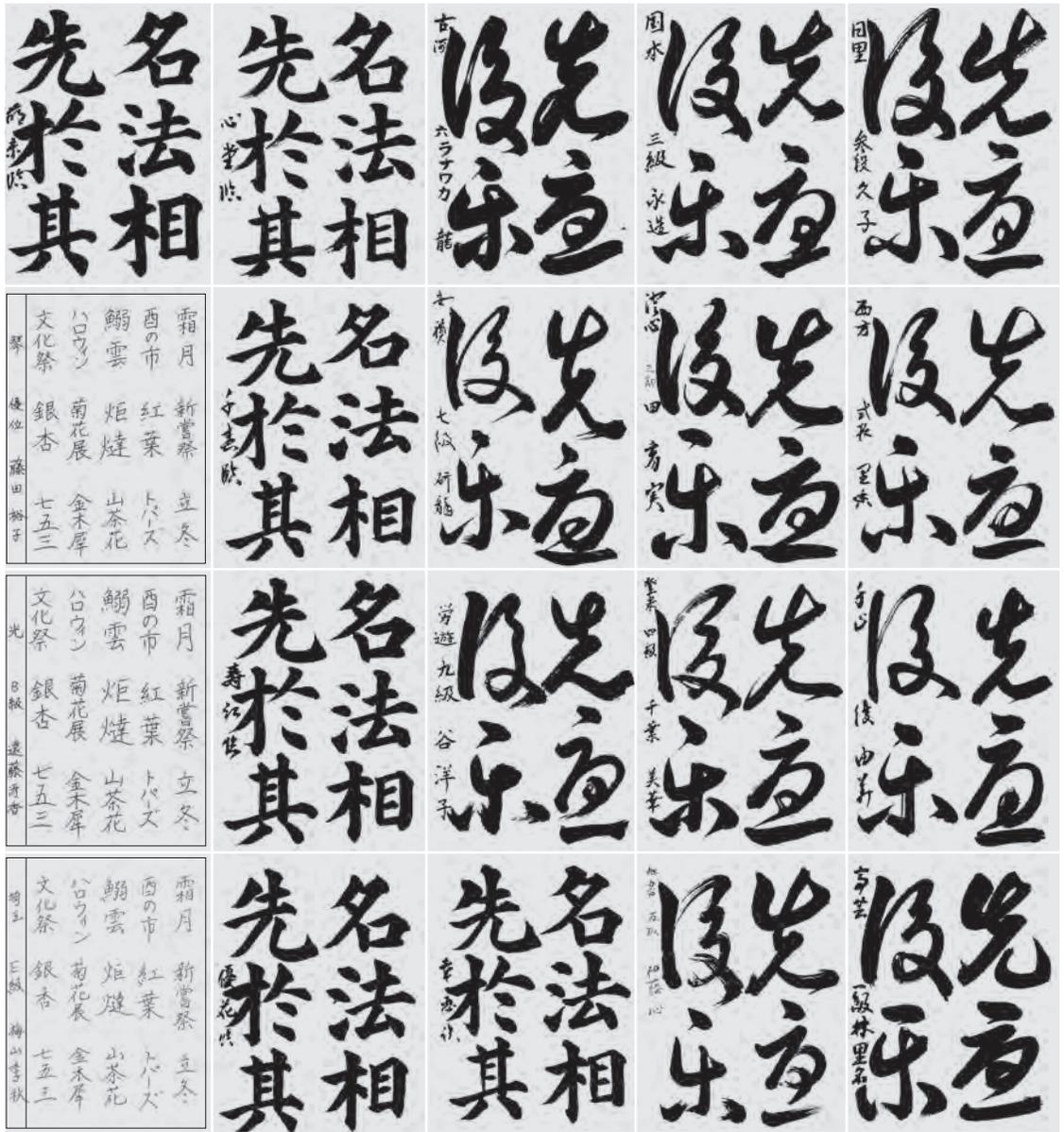
櫻井 素玄 選評

○寿江氏 穂先に神経を集中させて深い奥行を感じさせる作。

○春峯氏 温かみのある線で安定した運筆の作。

○純子氏 線の太い、細い、を配置された躍動感のある作。

○英夫氏 リズム感のある運筆で、伸びやかな作。



○久子氏  
 文字の空間を広く取られた明るい作。  
 転折の箇所にくつりのある曲線美の作。

○松島 美舟 選評  
 優級九級  
 ○由美氏  
 すつきりとして洗練された書線、紙面が澄みきつて爽やかです。

○里名氏  
 豊かで滑らかな書線、リズム感も備えていて迷いのない作品です。

○永造氏  
 筆の動き大きく、線も充実して躍動感があります。

○育実氏  
 淀みのない豊かな線が見事。たっぷりとして見応えがあります。

○美華氏  
 勢いのある線で伸びやか。気力が漲っています。

○心氏  
 強い線が紙面をしつかり捉えていて渴筆も効果的。落款がとでも残念です。

○龍氏  
 大らかな運筆でポリユームのある線、どこか親近感を覚えます。

○研龍氏  
 一字一字のセンスの良さが目をひく作品です。紙面を大きく使い、さりげない運筆で明るく纏めています。

**半紙臨書研究科**  
 平石 彰之 選評  
 ○幸恵氏  
 細部まで原帖をよく観察し、線質形よい好臨。筆の運びが自然体で、原帖の特徴を上手く消化しています。

○心堂氏  
 筆先をたくみに使い、余裕を持ってまとめます。

○千春氏  
 筆先をたくみに使い、余裕を持ってまとめます。

○寿江氏  
 結体よく、字中の白も考えられた臨書作。

○優花氏  
 原帖に迫りながら、プラスキレが入った、迷いのない臨書になっています。

○たつぷりとした線できつくり書けていて素直な臨書作。

○萌未氏  
 な臨書作。

**硬筆科**  
 平井 子晴 選評  
 ○裕子氏  
 少々小さいが、三段がととも見やすく、落ちていて目覚ましい作品。

○冴香氏  
 向勢で懐の広さがある。高さを揃えたらもっと素晴らしい。

○李秋氏  
 左に傾く文字がいくつかあり、それと反して右払いの伸びで重心を取る個性的な文字に得も言われぬ趣きがある。

かな科

教範と特位

鈴木 源泉 選評

○美園氏 清らかな書線で明るく伸びやかに連筆されている。

表情豊かである。秀作。

○弘子氏 落ちついて静かで丁寧にとまとめている。円やかでスケールの大きい作である。

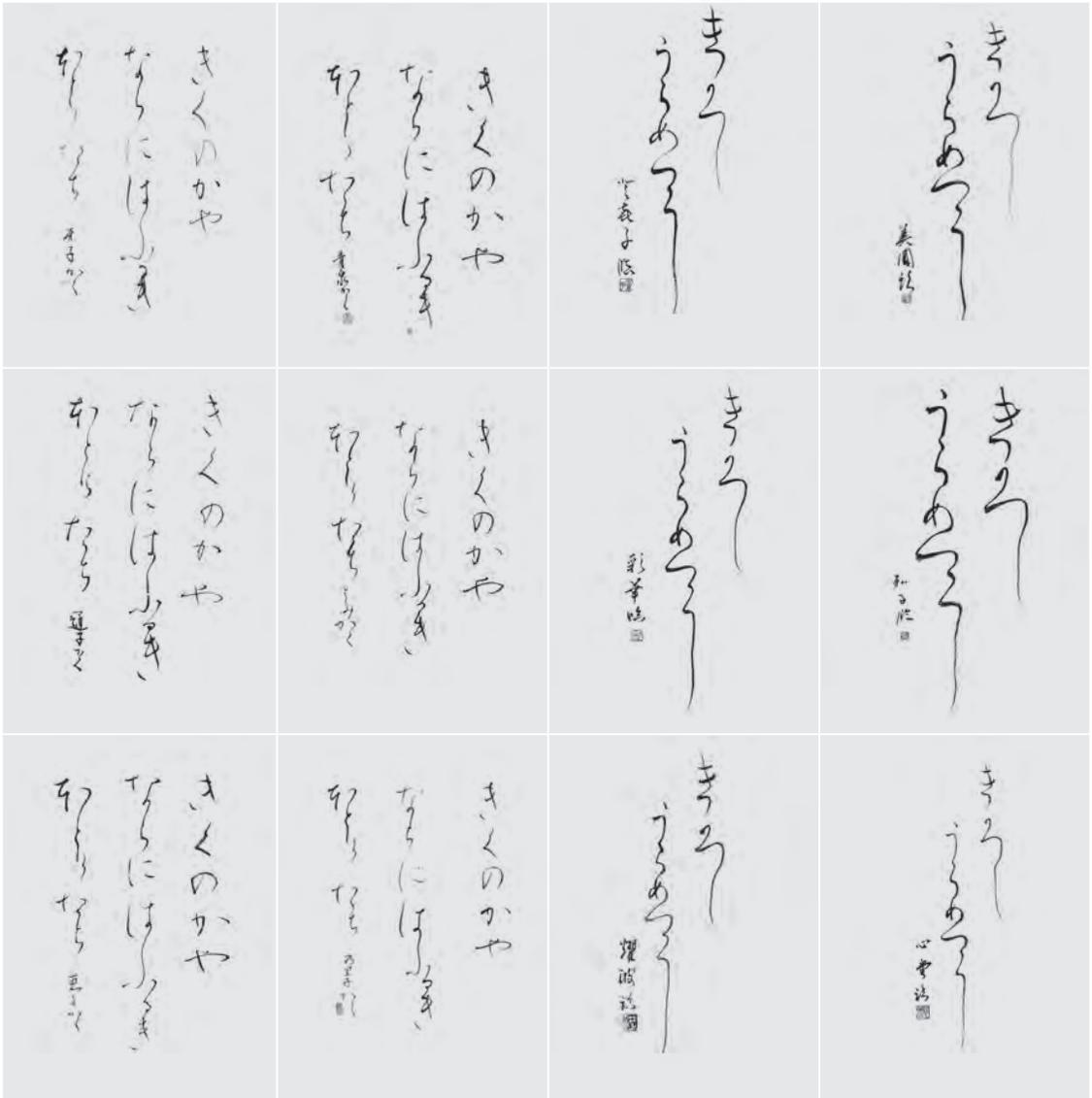
○心堂氏 小柄な表現作で、余白を広くとってある。随所に渴筆を加味し味深い。

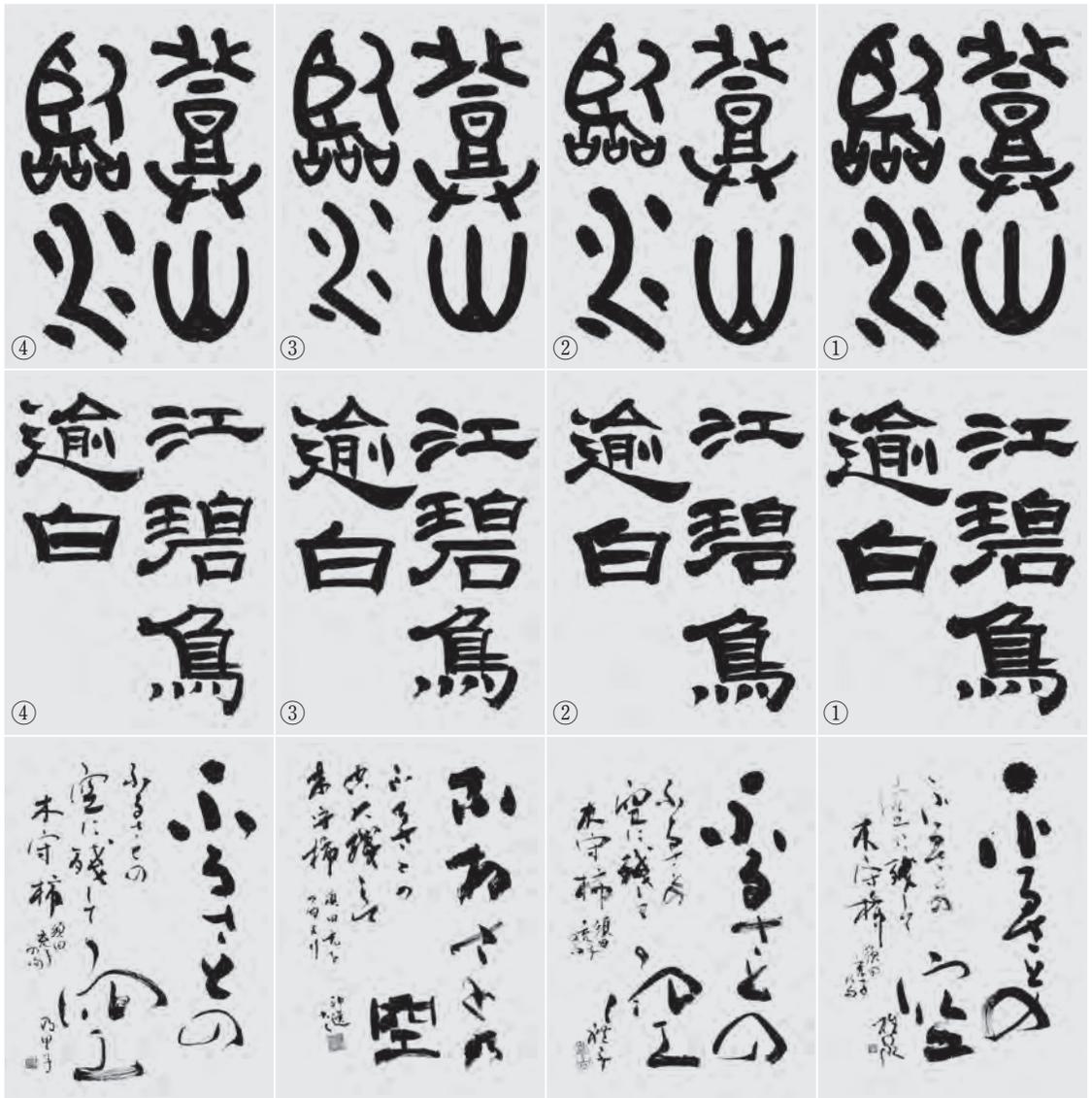
○登喜子氏 滑らかな書線で、しつかりとまとめている。落款がよく調和している。

○彩華氏 ゆったりとした回転で脱線しない書作である。安定した臨である。次回も。

○耀波氏 素直な書きぶりで無理なくまとめている。余白を広くとり明るい作となった。

優位と九位  
 貞永 大樹 選評  
 ○清泉氏 非常に丁寧。穴が開くほど手本を観察するその眼にも感服。運筆に遅速の変化つくとなお良い。  
 ○道俊氏 緩急のリズム感豊かで、気持ち良く制作された様子が窺える。ここに墨の潤濁が欲しい。  
 ○乃里子氏 多彩な線質、潤濁の変化、字形、表現力、総てに豊かなセンスあり。素直に感動しました。  
 ○房子氏 伸びやかな書きぶりで、墨の使い方が美しい。特に縦への流れが素晴らしいと思います。  
 ○通子氏 日頃の練習の成果を感じます。息の長い運筆を心掛ければ、さらに良くなるでしょう。  
 ○恵子氏 制作時の集中力を感じます。まだ肩肘に力が入った書きぶりなので、リラックスを心掛けて。





**篆書科**

日賀野 琢 選評

①絹雲氏 線の際(きわ)が実に美しい。これだけ書けるのだから、是非大きな舞台にも挑んでください。

②桃翠氏 参考手本を読み解いて、忠実に緻密に書こうという姿勢に好感。「臨」やや小さかった。

③久美子氏 じっくりと筆を進める様子が見て取れる。「登」過大になった点惜しい。

④房子氏 始めたばかりながら、線質、形とも抜群の出来栄え。この調子でグングン進んで欲しい。

**隸書科**

日賀野 琢 選評

①晴子氏 重厚でドンと構えた雰囲気は独自のもの。「奇を衒う」ことなく精進を。

②京子氏 小ぶりながら丁寧に慎重に連筆している。このやり方で是非大きな舞台にも挑戦してください。

③祐子氏 すっきり爽やかな雰囲気とても良い。この線質を維持すること。「鳥」やや小さかった。

④節子氏 線の中にしっかりとした骨芯があり、実に力強い。このやり方で進んでください。

**詩文書科**

赤澤 寧生 選評

①雄泉氏 大胆に抑揚を効かせて遠近感を演出。太細の変化も巧みで多彩な線が響き合っている。余白も美しく、品格のある作品。

②禮子氏 濃墨でグイグイと書き進め、大胆な変化で躍動的。落款の線質や構成が本文に調和して見事。

③功逸氏 厳しい線と爽やかな線を織り交せて最後まで気脈一貫。紙面構成も美しい。

④乃里子氏 筆の構えや手首の使い方が柔らかく、穏やかな雰囲気心が心地良い作風。押印は丁寧に。

東風共愛地爐暖西  
日同賞油窓明

惠子氏

東風共愛地爐暖西  
日同賞油窓明

操子氏

東風共愛地爐暖西  
日同賞油窓明

竹香氏

東風共愛地爐暖西  
日同賞油窓明

篤子氏

条幅課題科（龍）

赤澤 豊 選評

○惠子氏

個性的な表現で何かを発信しているような作品であり、高感度高い雄大な作。

○操子氏

心地良い筆さばきで安定した流れである。墨継ぎの空間はやや狭くしたい。次回は作曲家になったつもりで書こうか。

条幅課題科（虎）

水沼 龍峰 選評

○竹香氏

墨をたっぷり含ませて筆の動き大きく、のびやかな運筆。生き生きとしている。

○篤子氏

淡々と筆を進め、字形も整って無理のない落ち着いた作品の仕上りです。

東風共愛地爐暖西  
日圓賞之油窓明

典子

条幅課題科 (天)

柏崎 麗泉 選評

○典子氏 墨色美しく、筆脈が通り、心地よいリズムで纏められた。「共」は過大でした。

わが身を藤のしるしに  
はなれし

鳴ん

条幅自由科 (龍)

鈴木 源泉 選評

○智子氏 無理な構えはなく、迷いのない運筆でゆったりとして味わい深い。静かな動きの中に書作主張がある。

秋意  
櫻井暉代の春水

櫻井暉代の春水

わが身を藤のしるしに  
はなれし

鳴ん

条幅自由科 (雪)

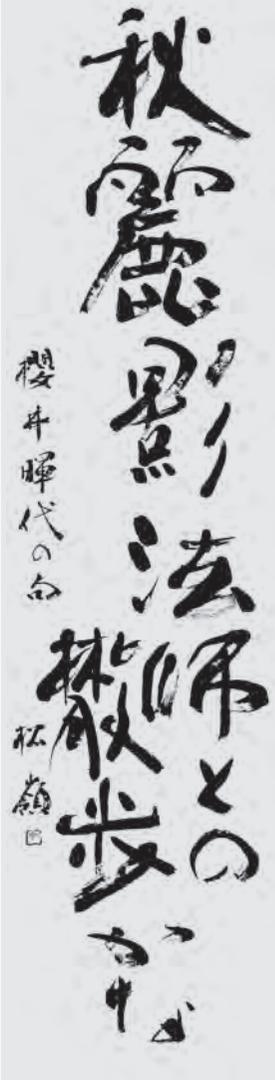
松島 美舟 選評

○竹游氏 手本をよく観察されて、無理のない清楚な線ですっきり仕上げています。

○春水氏 墨色の効果があつて温かさ、柔らかさがある。落ちついた動きのある表情。



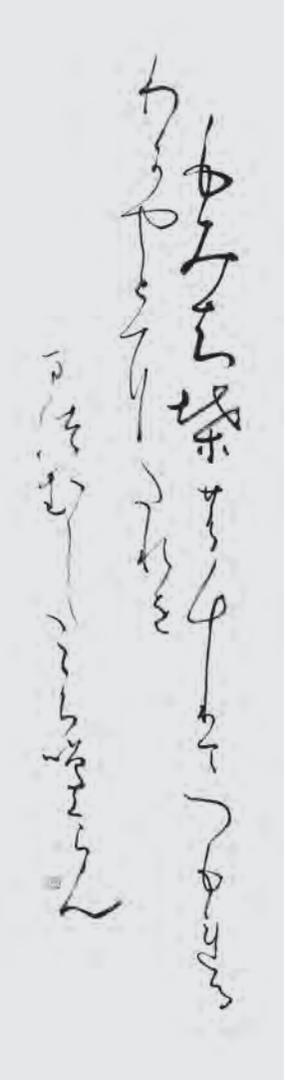
○信游氏 太・細を巧みに織りませた揺るぎのない筆捌き。存在感のある作品です。



条幅自由科 (月)

石川 子澄 選評

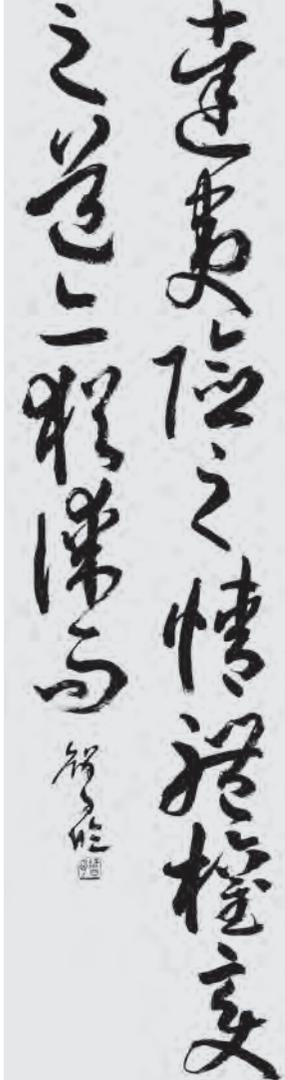
○松嶺氏 一行目右に振幅、次行自然に添わせ気脈貫通しています。程良い渴筆も妙。



条幅自由科 (花)

吉田 長子 選評

○幸子氏 キビキビした線質でリズムカルに運筆。潤渴効果も程良い。



条幅臨書研究科 (龍)

大輪 無涯 選評

○智子氏 あまり深追いせず素直に臨した様。腕の振幅の大きさが十分に生きている。

幸恵氏臨之情景権交  
之道二程保与

幸恵氏

麗子氏臨之情景権交  
之道二程保与

麗子氏

裕子氏臨之情景権交  
之道二程保与

裕子氏

典子氏臨之情景権交  
之道二程保与

典子氏

○幸恵氏 全体構成から見ると誠に見事。原帖の文字の

大小の変化を忠実に出した。

条幅臨書研究科(虎)

櫻井 素玄 選評

○麗子氏 心をこめて、原帖に忠実に取り組まれた見事

な臨書作。

○裕子氏 原帖を良く研究されて筆を立てて軽快なり

ズム感のある臨書作。

条幅臨書研究科(天)

平井 子晴 選評

○典子氏 形臨書に向き合う真摯な姿勢、よく書けていて素晴らしい。字間、多少の開閉が出来れば。

## 特選の感想

一、研究談又は感想文  
二、入会年月

青龍 岡田 幸大（四段）

一、この度は楷書科特選を頂きありがとうございます。日頃より御指導下さる平石彰之先生、御推挙頂きました先生方に心よりの感謝を申し上げます。

今年自分が受験生であるということもあり、書道を受験勉強の息抜きとして日々楽しんでおります。これからも課題に真摯に向き合って精進していきたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。

二、平成二十七年十一月

西方 駒場 美咲（初段）

一、この度は、楷書科特選を頂き誠にありがとうございます。日頃より私を気にかけて熱心にご指導くださる中村恵美子先生に、心から感謝申し上げます。

小学校一年生から今までの約十一年間、昇級できず悩んだ時期もありました。しかし今回このような栄誉ある賞を頂けたことで、自分のやってきたことは間違いはなかったんだと自信を持つことができました。これからも書を楽しみながら高みを目指していきます。今後ともご指導のほど、宜しくお願いいたします。

二、平成二十四年九月学生会入会、令和三年九月から一般部

東京 関口 まゆ（参段）

一、この度は、行書科特選をいただき、誠にありがとうございます。

小学一年生から高校時代まで、臥龍会に所属させていただいており、本部の皆さまや指導していただいた柏崎麗泉先生には、大変お世

北華 佐藤 香月（教範）

一、この度は、漢字創作研究科特選をいただき誠に有難うございました。思いがけない朗報に驚いています。ご推挙下さいました本部の先生方に心より感謝申し上げます。また日頃よりご指導いただいております村田二峰先生と書友の皆様にお礼申し上げます。これを機にまた新たな気持ちで楽しく自分らしくこれからも精進して参りますのでご指導の程宜しくお願い致します。

二、平成十四年十二月

楽豊 小熊 伸子（教範）

一、この度は、かな創作特選を頂き誠に有難うございました。はじめての特選です。青天の霹靂です。驚きと戸惑いではじめは信じられませんでした。あとになってこの喜びをかみしめております。これも偏に、赤澤豊先生の的確で丁寧な御指導のお陰と深く感謝いたしております。また、御推挙下さいました臥龍会の先生方に厚く御礼申し上げます。

今回の賞を励みに、これからも書を楽しみながら、私なりの目標にむかって精進していきたいと思っております。今後とも、御指導のほどよろしくお願い申し上げます。

二、昭和五十五年一月

話になっておりました。大学入学を機に、書道から離れて生活をしておりましたが、社会人となり、再び入会させていただくことになりました。再入会后、初めての特選ということで、大変嬉しく思っております。

今後もゆっくりと大好きな書道が続けていきたいと思っております。今後とも精進して参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

二、令和二年十月（二〇〇二年度から二〇一八年度まで入会しておりました。）

小貝 石川 雅子（準師範）

一、この度は、草書科特選をいただきましてありがとうございます。

ご推挙くださいました本部の先生方、そして、日ごろより温かく熱心な御指導をして くださる石川子澄先生のお陰と、心より御礼申し上げます。

今回の受賞を励みに、教室の方々と共に研鑽を積ませていただいたり、日々の生活の 中で少しでも多く書と向き合う時間をつくったりして、更に学んでいきたいと思っております。

今後とも、御指導よろしくお願いたします。

二、平成二十五年入会

若木 峯岸 寿江（七段）

一、この度は半紙部草書科にて特選を頂き誠にありがとうございます。

ご推挙下さった水沼龍峰先生をはじめ本部の諸先生方に心よりお礼申し上げます。又、常々丁寧にご指導下さる松島浩泉先生、折々激励頂きます小林香風先生には深く感謝しております。

臥龍会に入会して五年になりますが、まだまだお手本に近づくことで精一杯の日々です。とはいえ、徐々に出品科目を増やしてきたことで見えてくることも増えてきました。今後は思い込みを捨て視野を広め、見る目を培い、少しでも豊かな線で魅力ある作品を書いていけるように日々精進していきたいと思っております。どうぞこれからも変わらぬご指導、よろしくお願い致します。

二、平成三十年四月

書豊 神藤 信游（特位）

一、この度はかな科特選にご推挙頂きまして、誠に有難うございました。日頃より熱心にご指導くださいます赤澤豊先生に心より感謝申し上げます。

「かな」に憧れて始めた書道の筈が、漢字で手一杯となり、一回休書が長期休眠へ。コロナ禍中、令和二年漢字特師範挑戦を機に「かなも少しは書けないと書道を習っているとは言えない」との思いで再出発致しました。

十五年以上のブランク、貞永先生の美しい手本を拝見する度に「かな」の持つ流麗さ、連綿の妙、ピンと張り詰めた線、切れ味の鋭さ。改めて「かな」の奥深さを痛感しつつ、毎月苦戦しております。この度の「特選」は驚きと共に「これからも、もっと頑張れ！途中で脱落するな！」との激を頂いたように思います。

今後ともご指導の程宜しくお願致します。

二、令和二年五月 再入会

——以上十二月号特選掲載のもの——

令和四年 秋 期

教範（同人理事）推薦

- アンケート  
 ①入会年月 ②首位賞の回数  
 ③特選の回数(科目) ④特師・師範・準師在籍年数 ⑤一番長かった段級 ⑥下位者への助言 ⑦抱負  
 ⑧職業、年齢

芳華迷々 清氣後白  
 鳥如飛 汝如前



宮書 高橋 美穂

生方に心より厚く御礼申し上げます。

楽しんで書いた書にも思うように向き合えない時期もありましたが続けられたのも宏孟先生、諸先輩方に温かく励まされ見守られてきたからと感謝しております。教範という重みを感じておりますが尚一層精進して参りたいと思います。今後ともご指導の程宜しくお願い申し上げます。

- ①平成七年六月九級編入 ②十数回 ④特師範四年・師範二年・準師範十年  
 ⑤準師範 ⑦古典臨書 ⑧主婦・四十三歳

天寒日短 鳥鴉啼江  
 空野潤黄 雲低



日里 風間 香泉

この度は、漢字部教範にご推挙いただき、誠にありがとうございました。審査にあられた先生方に厚く御礼申し上げます。

これも日頃より熱心にご指導下さる石戸松波先生、本部先生方のお陰と深く感謝申し上げます。

教範合格の知らせをいただいた時は、只々嬉しく、ホッとしました。しかし、日が経つにつれ、教範という名の重さを感じています。この重みに負けないように日々努力してまいります。石戸松波先生、本部の諸先生方これからも精進してまいりますので、ご指導の程よろしくお願い致します。

- ①平成十四年三月 ②三十回以上 ③四回 ④師範半年、準師範一年  
 ⑥努力と継続 ⑦創作

故歲今宵盡 新年明旦來  
 愁心隨什衲 東北望春回



琉 栃木 洋子

この度は、漢字部教範にご推挙頂き誠にありがとうございました。日賀野会長先生から温かく優しいお声で、「頑張ったね」のお言を頂いた時にはまさかの合格に胸がいっぱいになりました。これも偏に日頃よりご指導下さいます、日賀野琢先生はじめ本部の諸先生方、琉教室の諸先輩のお陰と深く感謝致しております。試験に挑戦し練習を重ねた頃は、『とちぎ国体』開催中。そのスローガンであった「夢を感動へ。感動を未来へ」は、今これを私の新たなスタートであると感じています。これからも教範の名に恥じぬよう一層邁進していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

- ①平成十九年再入会 ②準師範五年 ⑥継続と良き師のご指導を仰ぐこと  
 ⑦古典の臨書と創作の勉強

## 特師範の感想

①入会の年月 ②首位賞の回数 ③特選の回数 ④準師範在籍年数 ⑤一番長かった段級 ⑥下級者への助言 ⑦これからの抱負(具体例：無休出書を続ける、中央展への出品等) ⑧職業、年齢



平石 郷間 初枝

この度は、漢字部特師範にご推挙頂きまして、ありがとうございます。

予期せぬ知らせに驚きと身の引き締まる思いがありました。これも偏に、日頃から熱心にご指導下さいます郷間大悠先生と本部の諸先生のお陰と心より深く感謝申し上げます。

今回の結果を励みに、あせらず努力して参りたいと思っております。今後とも、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

- ①平成三十一年一月 ②数回 ③一回 ④各六か月 ⑤師範・準師範 ⑥継続すること ⑦臨書と創作 ⑧主婦



宮書 渡邊 文子

この度は漢字部特師範にご推挙頂きまして誠に有難うございました。日頃ご指導して下さいます猪又宏孟先生、審査して頂いた本部の先生方に深く感謝申し上げます。

受験に際し、先生から「合否に関わらず、試験はとても良い勉強になるよ」と声を掛けてもらったので、ポジティブな気持ちで練習に取り組みました。今後も猪又先生のご指導のもと、教室の先輩方や元気な子供達に囲まれた環境で勉強出来たら幸せです。宜しくお願致します。

- ①平成二十年十二月 ②数回 ③無し ④準師範一年、師範六年 ⑤師範 ⑥楽しみながら継続する ⑦無休出書 ⑧会社員、三十九歳



宮書 小池せい子

この度は、漢字部特師範にご推奨頂き、誠にありがとうございます。本部の先生方、日頃より優しくご指導下さいます猪又宏孟先生に心より感謝申し上げます。

今回の試験は、挑戦するか悩みましたが、宏孟先生から優しいお言葉と励みで背中を押して頂き、受験しようと思いました。

まだまだ勉強不足でも不安がありました。合格という祝電を頂いた時には、本当に嬉しく胸がいっぱいになりました。

未熟な私ですが、諸先輩方に少しでも近づけるよう精進して参ります。今後ともご指導の程宜しくお願い申し上げます。

- ①学生部より平成十一年一月九級編入 ②十数回 ③3回 ④師範二年 準師範一年 ⑥継続は力なり ⑦無休出書 ⑧主婦 三十九歳



雅 岩巻 知永

この度は、かな部特師範にご推挙頂き誠にありがとうございます。

思いがけない、合格の電報を頂き 感激しております。これも偏に日頃から熱心にご指導下さる野沢安喜子先生のお陰と心より感謝しております。また 共に書道を学び楽しく過ごしてきた書友の皆様にも感謝しております。ありがとうございます。

- 今後共 ご指導の程宜しくお願い致します。  
①平成十九年七月 ②数回 ③一回 ⑤師範六年 ⑦書道の継続 ⑧主婦 七十五歳

# 師範の感想

①入会の年月 ②首位賞の回数 ③特選の回数 ④準師範在籍年数 ⑤一番長かった段級 ⑥下級者への助言 ⑦これからの抱負(具体例:無休出書を続ける、中央展への出品等) ⑧職業、年齢



温書 吉川 桃香

筆を運んでいる瞬間が私の至福の時です。漢字部師範にご推挙頂きありがとうございます。いつも熱心にご指導して下さいます。先生に感謝を申し上げます。

本部の先生方に感謝を申し上げます。

- ①二〇一八年四月 ②数回 ③二回 ④準師一年



大阪 観 竹瑞

この度は、漢字部師範にご推挙いただき誠にありがとうございます。また、日頃よりお世話になっております日賀野琢先生始め、本部諸先生方に感謝申し上げます。大阪からの出書ということで、孤独との戦いも多く、筆遣いなども不安要素が多い中ここまで参りましたが、今後自分なりのスタイルを確立し、継続出来る環境整備に努め、精進していく所存ですので、よろしくお願い致します。

- ①平成三十一年十一月 ②〇回 ③一回 ④準師範六ヶ月 ⑤式段 ⑥書道仲間との会話 ⑦継続 ⑧介護士・フォトグラファー・二十四歳



三龍 菅野 叶人

この度は漢字部師範にご推挙頂きまして誠にありがとうございます。日頃より温かく御指導くださる日賀野琢先生、子供時代にお世話になった千恵子先生のお陰と深く感謝申し上げます。

す。現在は学業とあわせて部活動の弓道、そして書道に取り組んでいる毎日です。改めて書の奥深さを知り、日々学ぶことの大切さを感じておりま



労遊 田切 君子

す。これからも弓と書の技術を磨き、人としても成長できるように文武両道を目指し精進して参ります。御指導の程よろしくお願い申し上げます。

- ①平成二十四年 ②数回 ③数回 ④準師範五ヶ月 ⑧高校二年生、十七歳

師範合格はまだまだ先の事、勉強のつもりで、と、挑戦したものの、「大きく元気に書く!!」だけが取り柄?の私にとって、この三書体臨書は本当に難しく、もう一枚、あと一枚と書けども思うように筆は運ばず、自分の未熟さを痛感させられた時間でした。ですが、苦戦する中にも、私なりの気付きや発見もあり、書の奥深さ、臨書、観、習いの大切さを知り得る貴重な時間でもあったように思います。予期せぬ朗報に今は驚くばかり、身の引き締まる思いです。ご推挙頂きました本部諸先生方、日頃熱心にご指導下さる赤澤豊先生、そして共に学ぶ労遊の皆さんに、心から感謝申し上げます。迷い悩みながらの日々ですが、この場所に恥じぬよう精進して参りたいと思います。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

- ①平成二十五年 ②数回 ③四回 ④一年半 ⑤七段 ⑥継続は力なり ⑦無休出書 ⑧主婦



鶴峰 金田 萬造

この度は、漢字部師範にご推挙頂きまして誠にありがとうございます。今回の漢字試験は、どの課題も難しく自分

の未熟さを痛感し、とにかく、臨書に専念して書く日々でした。祝電を頂いた時は、嬉しさと驚きと、そして、安堵の気持ちが入り混じりました。これも偏に、日頃から熱心にご指導して下さいる水沼龍峰先生をはじめ、本部の諸先生方、書友の皆様のお蔭と心から感謝しております。まだまだ未熟な私ですが、これを機会に更に一層精進して参りたいと思っております。今後共にご指導の程宜しくお願い申し上げます。

- ①平成二十七年六月 ②二回 ③一回 ④準師範六ヵ月 ⑤優級 ⑥楽しんでみながら書道をする ⑦古典の臨書と創作課題の研究 ⑧無職 七十歳



坂書 酒元 明美

まだまだ先は長いぞ、と思っております。この度、漢字部師範にご推挙頂き、嬉しさもひとしおでした。ありがとうございます。これも毎週教室へ行こうと思わせて下さる坂尻滄石先生や教室の仲間のおかげと深く感謝しております。これからも精進して、楽しく続けていこうと思います。どうかご指導の程、よろしくお願ひ致します。

- ①平成二十年
- ②③不明
- ④準師範 七年
- ⑤準師範
- ⑥楽しんで書く事
- ⑦創作を多く出書する
- ⑧主婦 六十四歳

雲 矢野 幸苑



夢の様です。諸先生方がとうございました。明日への活力となつて私の心を奮い立たせます。提出作品を選んで下さいました、赤澤豊先生、日頃細部に渡り指導下さる山本響花先生のお陰と厚く御礼申し上げます。

亡き高野朴雲先生も喜んでくれていると思っております。講座生の頃、文化祭で先生の力強い「龍虎」の書に衝撃を受けたことが未だに心に残っています。教室の皆様の温かい励まし言葉に感謝しつつ、皆様とのふれ合いの中で成長できたらと思っております。未熟ではございますが、今後、自身の個性を加えた作品が出来たらと思っております。

- ①平成二十七年
- ②十数回
- ③二回
- ④準師範六ヶ月
- ⑤六段二年二ヶ月
- ⑧主婦

坂書 堂下 早苗



祝電を頂き、私に本当にと驚きました。かな師範にご推挙頂き誠にありがとうございます。本部の諸先生方に感謝申し上げます。

字を書く事ががてでコンプレックス少しでも

克服出来たらと思ひ始めた書がこんな嬉しい日があるとは思ひもありませんでした。これも坂尻滄石先生の熱心で温かい指導のおかげだと深く感謝申し上げます。どうぞ今後ともご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

坂書 奥濱 美奈子



この度は、かな師範にご推挙頂きまして誠にありがとうございます。これも、日頃より熱心にご指導くださる坂尻滄石先生とご推挙くださいました本部の先生方のお陰と、心より感謝いたします。今後も坂書書道教室の皆様と書道を楽しみながら、努力してまいりたいと思ひます。これからもご指導の程よろしくお願ひ致します。

- ①平成十七年十月
- ②三回
- ③なし
- ④準師範七年
- ⑤準師範
- ⑦無休出書を続ける
- ⑧会社員

宮書 佐藤 友美 (硬筆部)



この度は、硬筆部師範にご推挙頂き誠に有難うございます。本部諸先生方、そして日頃見捨てず熱心にご指導くださいます猪又宏孟先生に心より感謝申し上げます。硬筆部に出品し始めたのは高校生になってからで、先生のように綺麗な字を書けるようになりたくてペンの持ち方や書いてる姿を真似して当時は毎日のように硬筆の課題を練習していました。何十年経っても先生のように書いておられますが、少しでも近づけるよう、そしていつも参考手本を揮毫してくださる平井先生のように、やさしい字が書けるように今後も精進してまいりたいと思ひますので引き続きご指導の程宜しくお願ひ申し上げます。

- ①昭和五十七年
- ②十数回
- ⑤佳位・十一年
- ⑥良き師につき師の字を好きになること
- ⑧書塾助手・四十六歳

# 令和四年 臥龍年間賞発表

令和三年の臥龍年間賞が決定しました。これは1月号～12月号までの集計です。

この点数は、半紙部（楷書・行書・草書・かな）の1席3点、2席2点、3席1点）条幅部（課題・自由・臨書・創作漢字・創作かな）の1席5点、2席4点、3席3点、4席2点、5席1点が得点となります。条幅創作研究科（漢字・かな）の出品回数を1科につき1点加算いたします。

したがって（ ）内の点数が出品回数および加算された点数となります。（例、1ヶ月、漢字・かな創作両科出品の場合2点加算）創作科は発表の月（2月号～12月号）となります。

◇対象は漢字・かな、教範・特師範の方。（例、漢字特師範・かな師範の場合、漢字のみ加算）

◇昇級試験点数に創作研究科出品回数を加算します。漢字・かな、教範・特師範・師範試験を受験される方はなるべく創作研究科に出品ください。

◆上位11名と特師範上位1名の方は後日表彰（賞品発送）します。

## ■過去臥龍年間賞大賞受賞者（現在出品者7名）

和賀 幸恵 107(20)	小池 功逸 94(10)	高橋 智子 78(20)	岩上 智和 69(9)
野地 翔田 67(10)	高根澤深幸 45(9)	山口 美圓 25(16)	

## ■臥龍年間賞受賞者及び上位得点表（範位は令和4年10月号現在）

順位	氏名	教特師	得点	創研	氏名	教特師	得点	創研	氏名	教特師	得点	創研
1	大輪 司	特師範	55	(9)	坂内 葉胡	特師範	35	(8)	柴田 響水	教範	27	(10)
2	古橋 洋舟	教範	50	(20)	青木 泰子	教範	34	(20)	土屋 紅雲	教範	27	(10)
3	中村 禮子	教範	47	(20)	中島 志光	教範	31	(7)	登坂 時子	教範	27	(10)
4	大原 綾月	教範	43	(20)	山下 敬起	教範	31	(10)	山本 響花	教範	26	(10)
5	山下 陸未	教範	41	(10)	枝 智子	教範	30	(19)	島田 雄泉	教範	25	(10)
6	小野 悦子	教範	39	(18)	風間 香泉	教範	29	(20)	以下略			
6	佐藤 友美	教範	39	(10)	神山 和子	特師範	29	(18)				
8	亀井 信子	教範	38	(7)	川崎 美津	教範	29	(20)				
9	木村 多伊	教範	36	(20)	床井 貴子	特師範	29	(10)				
9	松島 芳子	教範	36	(19)	野沢 安喜	教範	28	(20)				
9	篠崎 純子	教範	36	(19)	増岡 弘子	教範	28	(20)				

## ■臥龍年間賞大賞受賞者一覧

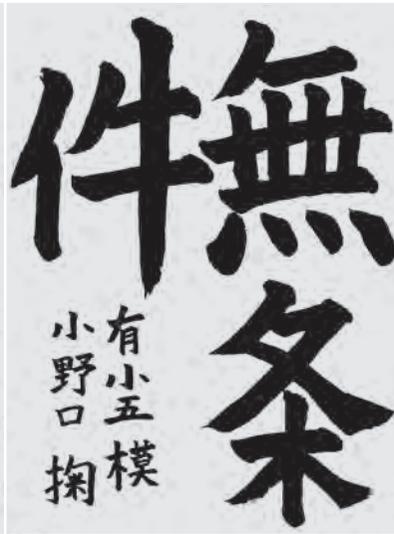
昭和54年	赤澤 豊	平成2年	赤澤 豊	平成13年	中津原軒陽	平成24年	柏崎 麗泉
55年	池谷 流外	3年	関根 光石	14年	猪又 宏孟	25年	北山 未晨
56年	関根 光石	4年	館沼 天游	15年	平井 子晴	26年	高橋 智子
57年	赤澤 豊	5年	赤澤 豊	16年	猪又 滯舟	27年	高根澤深幸
58年	赤澤 豊	6年	鈴木 源泉	17年	同点持越し	28年	小田林尚華
59年	赤澤 豊	7年	大輪 無涯	18年	手塚 雲龍	29年	岩上 智和
60年	赤澤 豊	8年	久津美碧洋	19年	廣岡 道外	30年	和賀 幸恵
61年	赤澤 豊	9年	赤澤 寧生	20年	吉田 長子	令和元年	野地 翔田
62年	赤澤 豊	10年	郷間 大悠	21年	高橋香代子	2年	小池 功逸
63年	赤澤 豊	11年	吉田 竹溪	22年	神長 雪華	3年	山口 美圓
平成元年	赤澤 豊	12年	石川 子澄	23年	福岡 俊介	4年	大輪 司

模範級優秀作品

有 小五 小野口 掬さん  
筆使い、文字の形、名前まで立派です。

平石 小六 長尾 春陽さん  
力強く丁寧です。字形も美しいです。

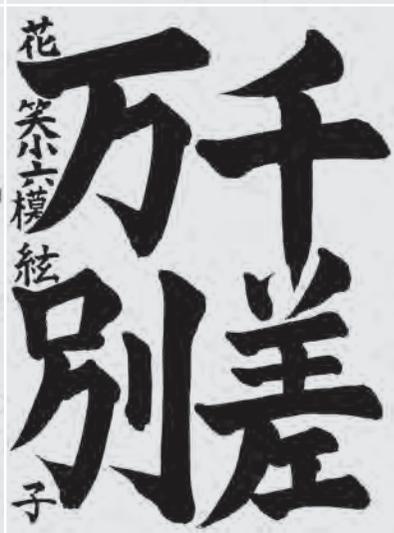
花笑 小六 堀 絃子さん  
筆が良く立ち、線が伸びやか。字形も整っています。



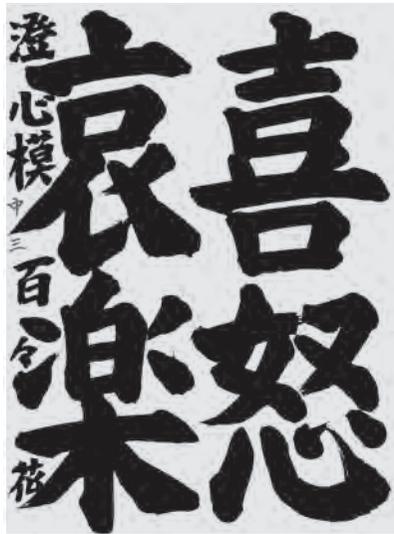
有小五模  
小野口 掬



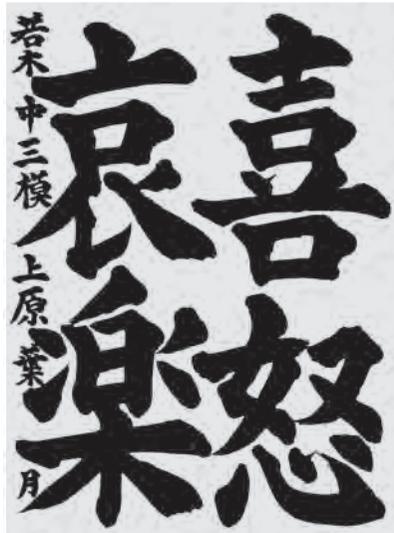
平石 小六模  
長尾 春陽



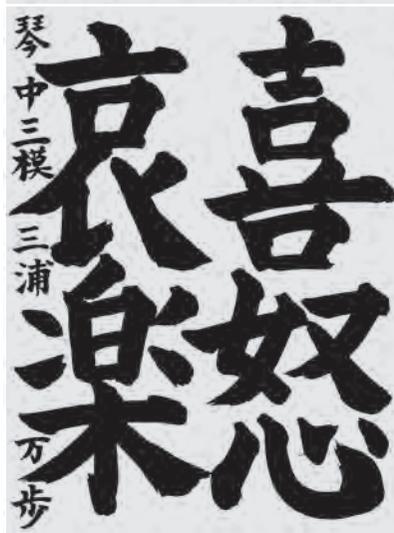
花笑 小六模  
絃子



澄心 中三  
小野百々花さん



若木 中三  
上原 葉月さん



琴 中三  
三浦 万歩さん

墨をたっぷりと含ませて、ゆつたりとした落ち着きのある作。

勢いのあるさびさびとした線で集中している。

力まずやさしい使筆で線も伸びやか、安定しています。

特 選 (小中学生)



千山 幼年 六級 島田 來実さん  
元気のある本文、名前も大きく書けました。小学生になってもがんばってね。

いつもダイナミックに書いているのでビックリします。これからもっと楽しみにしています。(岩上)



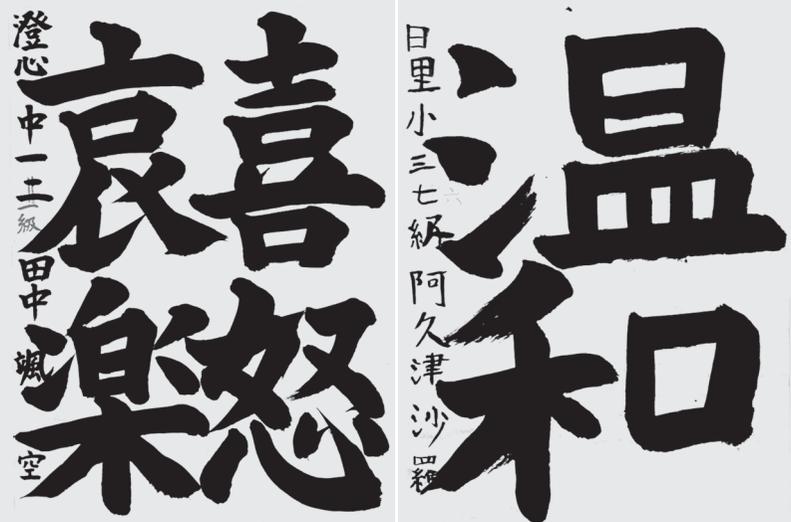
琴 小一 六級 古口未都希さん  
堂々とした形と伸びやかな線がうまい。

一枚、一枚名前の最後までしっかりと書いています。集中力もあるので、この調子でね。(柏崎)



日里 小三 六級 阿久津沙羅さん  
いきおいのある線でのびやかに書けています。

入会まもなく、連続トップ賞 特選とうれしいね。お手伝いもしてくれてありがとう。楽しく続けようね。(石戸)



千花 小四 一級 石井 頌馬さん  
生き生きとした線で伸びやかに書けていて、名前もとても上手です。

物静かな頌馬君、凛とした字に心の強さを感じています。ご活躍が楽しみです。(和賀)



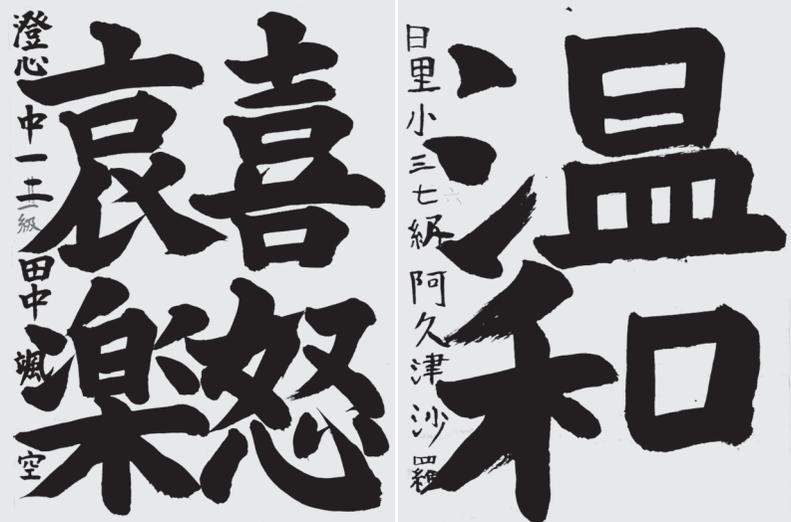
夕 小五 二級 増渕 和花さん  
相当の集中力です。点やはらいの方向に注意して良く書けています。

いつも黙々と一生懸命書いている和花ちゃん。どんなに上手になって来ますね。これからも一緒に頑張りましょうね。(長田)



澄心 中一 一級 田中 颯空さん  
切れ味のある線で、明るくのびやかである。心地よい。

太く力強く、丁寧に書きました。次は、名前の配置にも気をつけながら書けるといいね。(小林)



# 毛筆優秀賞

琴小三年二級志鳥那緒 温和	王心小三初段後藤愛子 温和	なしお小三九子うえりな 高き 温和	琴小二年三古野ひかり 高き 高き 高き	むつみ小一佐々木なな まま 高き 高き 高き	日里小三級若日田つぎ まま まま まま まま
若木小三三赤井百夏 温和	若小三優川村優来 温和	若木小三なかくぼあき 高き 温和	こつ小三四級糸とひかり 高き 高き 高き	花笑小二優鏡清水優斗 高き 高き 高き	二原小一四にしじまかい まま まま まま
琴小三年二級倉住拓真 温和	青龍小三優杏 温和	琴小三年参段三浦陸空 温和	日本小三三川上あいか 高き 高き 高き	田原小二和気心暖 高き 高き 高き	おやし小三きざわかひな まま まま まま
かい風小三三つ木時生 温和	東書小三一級加藤唯 温和	白取小三初相良環太 温和	琴小二年八原木ゆず 高き 高き 高き	みやぎ小三すとうしよつた 高き 高き 高き	もつみ小元天谷太一ろう まま まま まま

## 優秀お清書評

幼・小一年

吉田 長子 評

○若日田さん 大きく元気良く書けました。名前まで上手です。  
○西島さん 墨をたっぷりつけ大きく、ていねいに書けました。

○菊澤さん 素直な線で、名前まですばらしいです。

○天谷さん 筆の入終筆上手です。名前も上手に書けましたね。

○佐々木さん ていねいに力強い線で書けました。とても上手です。

小二年

大輪 無涯 評

○清水さん 筆の使い方がうまい。名前も良い。

○和気さん 強い線で気持ち良い作。

○須藤さん しつかりとした筆の使い方です。

○吉野さん 細いが伸び伸びとして良い。

○大藤さん 形が良く力強いです。

○川上さん 一画目との二画目の線に圧倒されました。

○廣木さん 細いがしつかりと運筆上出来。

○羽田さん 筆の入りがうまい。この調子で。

○長久保さん うまく出来ました。「さ」は最高です。

小三年

柏崎 麗泉 評

○三浦さん 力強い線で、一所懸命さが伝わります。

○相良さん 落ち着いた書きぶりです。

○後藤さん 名前の最後まで集中して書けています。立派です。

○川村さん 温かみのある線で、おだやかに書けています。

○加藤さん(杏) しつかりとした線で書けています。

○加藤さん(唯) 文字の形が整っています。

○志鳥さん 形も整い、筆使いがしつかりとできています。

○赤荻さん 太い線で立派な作品です。

○倉住さん 堂々と大きく書けています。

○宇津木さん 勢いのある線で、転折が上手です。

# 毛筆優秀賞

市見本 睦小五級 奥田由依	市見本 若木小四 森谷公雄	市見本 千花小四優 道前峻太	市見本 国本小四 式段 高橋うめの	東書小三八級 半田莉子	温和 睦小三三級 米田啓人
市見本 睦小四七級 長ざわひかり	市見本 光小四三級 数本まると	市見本 若木小四 一級 関心美	市見本 若木小四 初段 野澤凜子	若木小三三級 栗原由依	温和 久小三四級 坂本なお
市見本 宮書小四八級 佐藤葵	市見本 茨城小四四級 岩崎楓	市見本 宮書小四二級 佐藤杏音	市見本 若木小四 初段 松岡純光	市見本 琴小四四級 小野寺葵	温和 睦小三六級 高井はるか
市見本 宮書小八級 山岩淵亮太	市見本 若木小四四級 小舟文也	市見本 高仁小四三級 大野篤生	市見本 若木小四 優級 片木恵佐	市見本 三龍小四 参段 半田野乃	温和 三小三三級 又邊 三ツ小三三級 又邊

○米田さん 一画一画でいねいに書けています。

四級〜九級 平石 彰之 評

○坂本さん のびのびと書けています。

○高井さん 一画一画でいねいに書けています。

○渡辺さん するどい線で書けています。

○半田さん きれいな筆使いで書けています。

○栗原さん 力強くどうと書けています。

小四年 松島 美舟 評

○小野寺さん 一画一画とても丁寧いに、優しい線で書けています。

○半田さん 墨の色が澄んでいて、力みのない素直な線がとてもきれいです。

○高橋さん 基本の筆使いを大切にして、引き締まった線ですっきり書けています。

○野澤さん ふくよかでしつとりとした線がとても心地よく感じられる作品です。

○松岡さん 深みのある線でじつくり書けていて、よく整っています。

○片木さん 気持の入った力強い線で最後までしつかり集中できています。

○道前さん 弾力のきいたしなやかな線がとても目をひく作品です。

○関さん 心のもった豊かな線で落ち着いて書けています。

二級〜九級 櫻井 素玄 評

○佐藤さん ゆとりある運筆で明るく書けています。

○大野さん 墨量多くしつかりと書けています。

○森谷さん 筆の払い上手く書けています。

○数本さん すなおな筆使いでスッキリと書けています。

○岩崎さん 字形良く美しく書けています。

○小船さん 元氣いっぱい伸び伸びと書けています。

○奥田さん 字形良く丁寧に書けています。

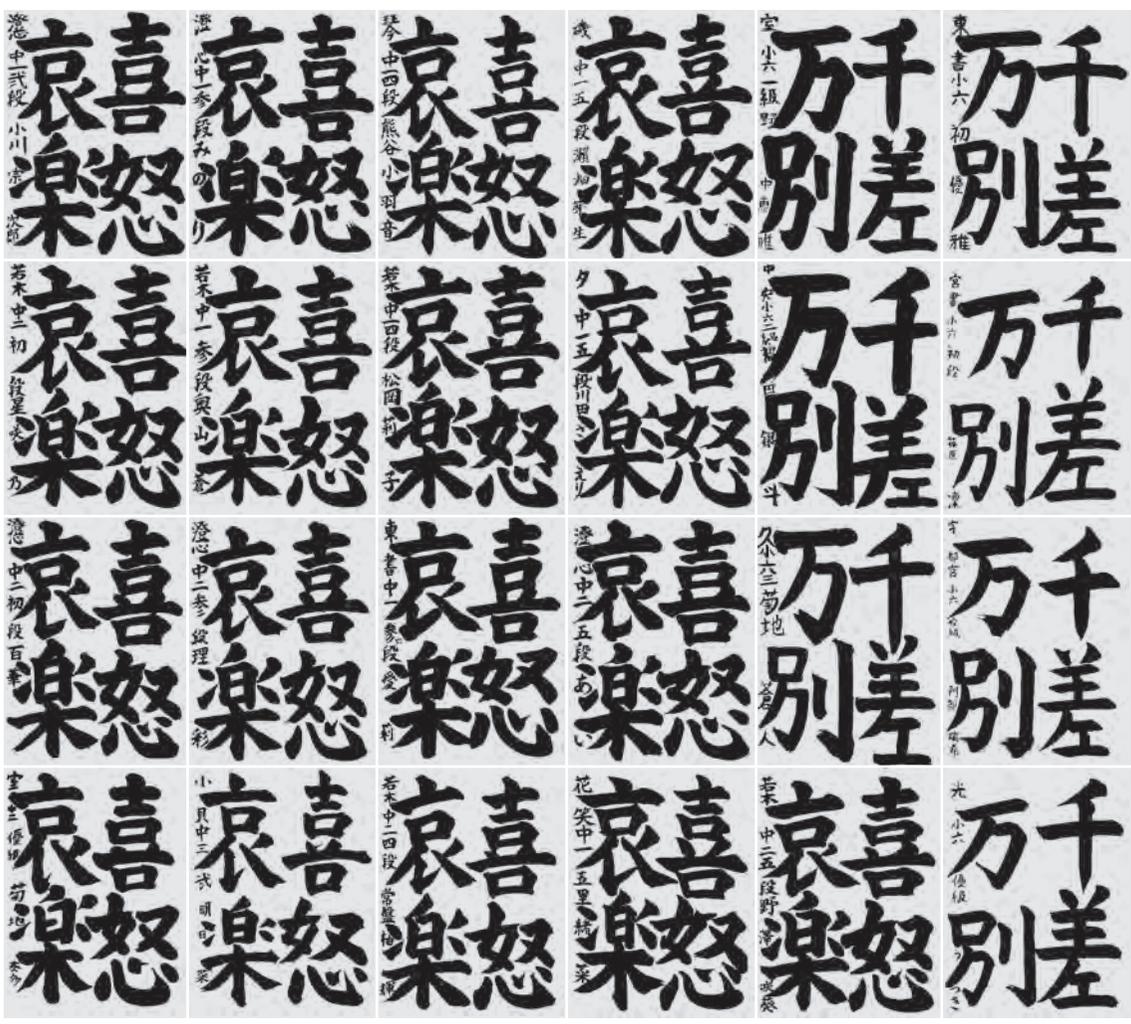
○長澤さん 深みのある線で落ち着いて書けています。

○佐藤さん 安定した運筆で美しく書けています。

○岩淵さん 無理のない筆使いでまじめに書けています。



# 毛筆優秀賞



- 大坪さん 四字の字形に乱れなく整齐。横画は水平より右肩上がりが見望ましい。一点一画も安易なところがなく、高い集中力で書き上げました。
  - 阿部さん ヨコ画の起筆が下向きなのは気になりますが、明るく大きくてよい。
  - 床末さん 「千」の終筆が抜群。
  - 野中さん 四字の配置、字形、筆使いがよく、堂々明快の作。今後が楽しみ。
  - 福田さん 太く大きな字で元気一杯。ただし隣の文字に重なるのは要注意。
  - 菊地さん キチンと明るく書けました。横画は水平よりもやや右上がりが見適正。
- 中学部**
- 野澤さん 大きく堂々と半紙いっぱい元気よくととのって書きました。
  - 瀬畑さん しつかりとした筆使いで温かみを感じる線、全体バランスもよく整っています。
  - 川田さん 心をこめていねいにすっきりした文字でさわやかです。
  - 山崎さん 力強く堂々とした書き方でまとまっています。
  - 石川さん 大ききのびのびと四字のバランスよく書けています。
  - 熊谷さん 文字の姿がととのい、線のびやかですばらしいです。
  - 松岡さん 力強く安定した作。堂々としています。
  - 五味潤さん 紙いっぱいのにびやか、生き生きと書けています。
  - 常盤さん 筆の使い方がよく、文字の姿がととのっています。名前のバランスもよくとれています。
- 参段〜九級**
- 鈴木 源泉 評**
- 松本さん 一字二字心をこめて、じっくりとよくまとめている。しつかりと筆を選び明るい作になった。名前上手です。
  - 奥山さん 安定した筆使いで伸び伸びと書いている。すばらしい。
  - 山土家さん すっきりとした書線で、明るく書けました。良い作です。
  - 谷口さん 一画一画でいねいに書いています。立派です。次回も。
  - 小川さん 丁寧な筆使いで、安定した作になっております。次品です。
  - 菅家さん 筆の入り方が良く、四字共ゆつたりとした良い作品です。
  - 菊地さん 書線に力強さが、こもりどうどうと書けています。

# 硬筆科優秀賞

赤とんぼ  
田村 小一 一級 おおぼりゆきな

子ぎつねはトントンと戸をたたきました。  
栗野 小三 A級 青木悠泰

子ぎつねはトントンと戸をたたきました。  
田原 小四 A級 篠原一花

その仕事を責任を持って進めている。  
宮書 小五 A級 菊澤 柚

その仕事を責任を持って進めている。  
境 六年 武段 平山 茜

あやまちのないことを神に祈るような精神が不可欠だ  
花笑 中一 武段 大森紗英子

赤とんぼ  
田原 小二 B級 川口美羽

子ぎつねはトントンと戸をたたきました。  
宮書 小三 B級 青山ひな

子ぎつねはトントンと戸をたたきました。  
国本 四年 B級 押久保知音里

その仕事を責任を持って進めている。  
泉 小五 B級 加藤彩乃

その仕事を責任を持って進めている。  
宮書 小六 A級 森田楓都

あやまちのないことを神に祈るような精神が不可欠だ  
宮書 中二 初段 後藤真菜

## 硬筆科

小一年～中学部

平石 彰之 評

○大堀さん しんちようせんで書けています。

○川口さん まよいなくしつかりと書けています。

○青木さん 形よくていねいに書けています。

○青山さん お手本をしつかり見て書けています。

○篠原さん 一画一画強い線で書けています。

○押久保さん やわらかい線で書けています。

○菊澤さん 右上がりの角度がしつかりと書けています。

○加藤さん 入り方しつかりと最後まで書けています。

○平山さん おおらかで余裕を持って書けています。

○森田さん すつきりした線で書けています。

○大森さん 縦の流れよく書けています。

○後藤さん 漢字と平仮名の大小のバランスよく書けて

います。

令和四年 秋期  
模範級合格  
おめでとう



栃木県・上松山小六年  
長岡 燈音  
平石彰之先生



馬県・群馬大附属小六年  
後藤 桃子  
角田大壤先生・小高心鏡先生



栃木県・上三川小五年  
川上 透麻  
柏崎麗泉先生



栃木県・岡本北小五年  
高山 晃  
大嶋明子先生



栃木県・岡本小六年  
福田 百音  
加藤榮舟先生



栃木県・作新学院小六年  
村上 かれん  
長田裕里先生



宮城県・佐沼小学校六年  
伊藤 佑奈  
猪又宏孟先生



栃木県・上三川北小六年  
平田 明佳里  
柏崎麗泉先生



栃木県・石橋小六年  
川村 徠剛  
川崎美津先生



群馬県・群馬大附属中二年  
石原 敬葵  
角田大壤先生・小高心鏡先生



栃木県・藤岡中三年  
山崎 涼  
小林香風先生



栃木県・植野小六年  
金子 芽生  
高橋綾子先生



宮城県・佐沼小学校六年  
森田 楓都  
猪又宏孟先生



栃木県・氏家小六年  
小菅 あかり  
平石彰之先生



栃木県・藤岡中三年  
今関 咲来  
小林香風先生



栃木県・石橋中二年  
高山 紗希  
和田秀悦先生



宮城県・米山中学校三年  
栗原 汐璃  
猪又宏孟先生



栃木県・宇都宮東高附属中一年  
大塚 春奈  
和賀幸恵先生



栃木県・豊田中三年  
小島 菜愛  
松島浩泉先生



栃木県・石橋中三年  
鈴木 慎翔  
柏崎麗泉先生



栃木県・上河内中一年  
小林 春葵  
櫻井素玄先生



栃木県・鬼怒中二年  
釜島 理緒  
渡邊房子先生



栃木県・益子中三年  
田代 愛美  
山口美園先生



栃木県・西方中三年  
大里 美穂  
荒木幹夫先生・中村恵美子先生



栃木県・小山中三年  
吉川 遥賀  
松浩浩泉先生



栃木県・南那須中三年  
渡邊 鍊  
平石彰之先生



栃木県・烏山中二年  
齊藤 成実  
磯 東舟先生



栃木県・国分寺中三年  
安達 美月  
菊地芳子先生



栃木県・氏家中三年  
関 志生  
平石彰之先生

 栃木県・阿久津中二年 <b>大野友楓</b> 加藤榮舟先生	 栃木県・藤岡中三年 <b>松本 絆</b> 小林香風先生	 栃木県 横川中三年 <b>鈴木希美</b> 鈴木和美先生	 群馬県・南橘中三年 <b>捧 未結</b> 角田大壤先生・小高心鏡先生	 栃木県・藤岡中三年 <b>小林 姫梨</b> 小林香風先生
 栃木県・大沢中一年 <b>村山 芽</b> 石戸松波先生	 栃木県・西方中三年 <b>平向弘汰</b> 荒木幹夫先生・中村恵美子先生	 栃木県・北高根沢中三年 <b>田代隼也</b> 加藤榮舟先生	 栃木県・河内中三年 <b>木島 來夢</b> 平石彰之先生	 栃木県・藤岡中三年 <b>須藤星成</b> 小林香風先生
 栃木県・北高根沢中三年 <b>見目海斗</b> 加藤榮舟先生	 栃木県・陽西中二年 <b>高田 菜摘</b> 平井子晴先生	 栃木県・宇都宮大附属中二年 <b>小倉奏樂</b> 齋藤信代先生	 栃木県・作新学院中二年 <b>柴田美優</b> 長田裕里先生	 栃木県・今市中二年 <b>榊 姫花</b> 大関都史先生
 栃木県 横川中三年 <b>深田 楓夏</b> 鈴木和美先生	 茨城県・総和南中三年 <b>藤澤 佑月</b> 高嶋祥泉先生	 栃木県・西方中三年 <b>駒場悠太</b> 荒木幹夫先生・中村恵美子先生	 栃木県・佐野南中三年 <b>金子彩香</b> 高橋綾子先生	 栃木県・西方中三年 <b>早川結彩</b> 荒木幹夫先生・中村恵美子先生

## 昇級試験合格の記念に段級証をお薦めします。

もくろくに、①その段級になった臥龍誌の年月号 ②学年  
 ③受ける段級 ④お名前 を記入します。

模範級 (小・中学生) 3, 800円

段級証 (小・中学生) 1, 600円

送料 ①筒入り (送料込み500円 必ず一本一枚) プラス

②臥龍会本部で受取る

送金は現金書留(振替も可)※お電話でのお申し込みはご遠慮下さい。